

学 年

4

令和7年度

シラバス

令和7年度 後学期

# シラバス

SYLLABUS  
*for*  
STUDENTS

日本歯科大学生命歯学部

番号		氏名	
----	--	----	--



≡

第4学年 後学期



日本歯科大学生命歯学部

令和7年度 第4学年  
シラバス Syllabus for students

本書の使い方	1
授業科目の履修時期と単位数	2
後学期授業科目	5



# 本書の使い方

本書は、学生諸君が履修すべき授業の概要をあらかじめ把握し、自ら積極的に受講する意欲を起こし、勉学の習慣を培うために作成した。

各授業を系統的に理解できるように、アウトラインをまとめてあるので、下記のとおり活用されたい。

## 記

- 1) 授業に際し、事前に該当授業のページに目を通しておくこと。
- 2) 授業に際し、本書を必ず持参し、必要に応じてチェックすること。
- 3) 欠席した場合には、該当授業のページを確認し、事後の補習に備えること。
- 4) やむを得ざる事情により休講した場合には、該当授業の変更を確認しておくこと。
- 5) 予習と復習の指針とすること。
- 6) 試験に際し、試験範囲等の系統的勉強の指針とすること。

※実務経験のある教員等による授業科目を示す。

なお、実務経験のある教員等による授業科目一覧は、シラバスの末尾部に示す。

# 授業科目の履修時期と単位数

【2025年度第4学年以降】

授 業 科 目	単 位	1年		2年		3年		4年		5年		6年		学士
		前	後	前	後	前	後	前	後	前	後			
心理学概論	3													
医療コミュニケーション学	1.5													
法学	1.5													
社会福祉学	1.5													
人類学	1.5													
医学英語	3													
国語表現	3													
数学	1.5													
スポーツ・健康学実技	1													
物理学	3													
基礎化学	1.5													
化学	3													
化学実習	1													
基礎生物学	1.5													
生物学	3													
生物学実習	1													
医学統計学	1.5													
歯科医療情報学実習	1													
プロフェッショナルリズム	1.5													
話し合い基盤型問題解決演習	1													
学習法基本概論	1.5													
病院医療概論	1.5													
歯科医療概論	1.5													
食育学	1.5													
生命歯学概論	2													
医の倫理	1.5													
発生と再生	1.5													
行動科学	1.5													
歯学英語	3													
解剖学	4.5													
解剖学実習	2													
歯の解剖学	3													
歯の解剖学実習	1													
組織学	4.5													
組織学実習	1													
生理学	4.5													
生理学実習	1													
生化学	4.5													
生化学実習	1													
微生物学	4.5													
微生物学実習	1													

授 業 科 目	単 位	1年		2年		3年		4年		5年		6年		学士
		前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	
薬理学	4.5													
薬理学実習	1													
衛生・公衆衛生学	3													
口腔保健学	3													
口腔衛生学	1.5													
衛生学・口腔衛生学実習	1													
歯科理工学	4.5													
歯科理工学実習	1													
病理学	4.5													
病理学実習	1													
スポーツ歯学	1													
プロフェッショナルリズム2	1.5													
臨床につなげる基礎学と教養	1.5													
地域連携・在宅医療概論	1.5													
歯科法医学	1.5													
生命歯学探究	1.5													
生命歯学探究実習	1													
コミュニケーション概論実習	1													
歯科硬組織修復学	4.5													
歯科硬組織修復学実習	1													
歯内療法学	4.5													
歯内療法学実習	1													
歯周病学	4.5													
歯周病学実習	1													
全部床義歯補綴学	3													
全部床義歯補綴学実習	1													
部分床義歯補綴学	3													
部分床義歯補綴学実習	1													
歯冠補綴学	4.5													
歯冠補綴学実習	1													
口腔外科学	3													
口腔内科学	3													
口腔外科の基本手技実習	1													
歯科矯正学	3													
歯科矯正学実習	1													
小児歯科学	3													
小児歯科学実習	1													
歯科放射線学	4.5													
高齢者歯科学	1.5													
外科学	1.5													

授 業 科 目	単 位	1年		2年		3年		4年		5年		6年		学 士
		前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	
内科学	1.5													
歯科麻酔・救急処置	3													
総合基礎歯学	2													
統合臨床基礎学実習	1													
障害者歯科学	1													
口腔インプラント学	1.5													
総合歯科医学	3													
臨床実習	5													
基礎医学演習 1	1													
基礎医学演習 2	1													
総合基礎医学演習 1	1													
総合基礎医学演習 2	1													
臨床歯学探究	1													
総合科目①②③	3													
包括歯科医学①②	1													

単位合計数	199.5単位
-------	---------

---

## 後学期授業科目

---

総合基礎歯学〔微生物学〕 .....	18
総合基礎歯学〔歯科理工学〕 .....	20
口腔衛生学 .....	22
歯内療法学 .....	24
総合基礎歯学〔解剖学〕 .....	28
総合基礎歯学〔組織学〕 .....	30
総合基礎歯学〔病理学〕 .....	32
総合基礎歯学〔生化学〕 .....	34
総合基礎歯学〔生理学〕 .....	36
総合基礎歯学〔薬理学〕 .....	38
統合臨床基礎学実習 .....	40
歯周病学実習 .....	42
歯周病学 .....	46
口腔インプラント学 .....	50
障害者歯科学 .....	54
部分床義歯補綴学 .....	58
部分床義歯補綴学実習 .....	60
口腔内科学 .....	62
歯科麻酔・救急処置 .....	66
口腔外科の基本手技実習 .....	68
(計 20科目)	

Microbiology and Infection .....	18
Dental Materials Science .....	20
Oral Health .....	22
Endodontics .....	24
Anatomy .....	28
Human Histology .....	30
Pathology .....	32
Biochemistry .....	34
Physiology .....	36
Pharmacology .....	38
Integrative Clinical Fundamental Practice .....	40
Laboratory Practice in Periodontics .....	42
Periodontics .....	46
Oral Implantology .....	50
Special Needs Dentistry .....	54
Removable Partial and Complete Denture Prosthodontics .....	58
Laboratory Practice in Removable Partial and Complete Denture Prosthodontics .....	60
Oral Medicine .....	62
Dental Anesthesiology and Emergency Treatment .....	66
Laboratory Practice in Oral Surgery .....	68

(計 20科目)

## 令和7年度（第4学年 後学期）授業時間表

日本歯科大学生命歯学部

時間 曜日	9 : 0 0 )	1 0 : 4 0 )	1 3 : 1 0 )	1 4 : 5 0 )	1 6 : 3 0 )
	1 0 : 3 0	1 2 : 1 0	1 4 : 4 0	1 6 : 2 0	1 8 : 0 0
月	総合基礎歯学 〔微生物学/歯科理工学〕 (高橋/新谷)	口腔衛生学 (講座代表者) 社会歯科学を含む	歯内療法学 (講座代表者)	総合基礎歯学 〔解剖学/組織学〕 (春原/菊池)	moodleに掲載の 【別紙】を確認
火	総合基礎歯学 〔病理学/生化学〕 (添野/今井)	総合基礎歯学 〔生理学/薬理学〕 (佐伯/筒井)	統合臨床基礎学 (実習：前 田)		moodleに掲載の 【別紙】を確認
水	歯周病学 (実習：沼 部)		歯周病学 (沼 部)	口腔インプラント学 (柳 井)	moodleに掲載の 【別紙】を確認
木	障害者歯科学 (統合：内川)	部分床義歯補綴学 (隅 田)	部分床義歯補綴学 (実習：隅 田)		moodleに掲載の 【別紙】を確認
金	口腔内科学 (松 野)	歯科麻酔・救急処置 (砂 田)	口腔外科の基本手技 (実習：里見/砂田/柳井) インプラント実習含む		moodleに掲載の 【別紙】を確認

- 1) 授 業 期 間    令和 7年 9月16日(火)～令和 7年12月 8日(月)  
                    ( 令和 7年12月25日(木)～令和 8年 1月 4日(日)は冬期休業)
- 2) 講            堂    1 5 2 講堂 (実習科目は臨床基礎実習室で行う)
- 3) そ            の    他    ①ワクチン接種は16時30分から実施 (詳細は後日掲示)。
- 4) 年間総合単位数    3 8 . 5 単位
- 5) 臨床実習事前オリエンテーションは受講必須 (詳細は後日掲示)

# 準備学習 課題一覧

## 使い方

授業内容を確実に理解・修得できるよう、事前に各自で取り組んでおく課題を掲載します。各授業ユニットの受講前に確認・実施してください。単位科目の修得には、受講のみならず予習・復習を含めた十分な学習時間が必要です。

## 総合基礎歯学（微生物学）

月曜日 1限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	配付資料を参照し予習する。	
ユニット2	配付資料を参照し予習する。	
ユニット3	配付資料を参照し予習する。	
ユニット4	配付資料を参照し予習する。	
ユニット5	配付資料を参照し予習する。	
ユニット6	配付資料を参照し予習する。	

## 総合基礎歯学（歯科理工学）

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	スタンダード歯科理工第7版の「歯科材料概論」、「材料の種類と構造」、「材料の性質」、「生体材料の安全性と適合性」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット2	スタンダード歯科理工第7版の「印象用材料」、「模型用材料」、「歯冠用セラミックス」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット3	スタンダード歯科理工第7版の「歯科用ワックス」、「鋳造用材料」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット4	スタンダード歯科理工第7版の「歯科用金属用材料」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット5	スタンダード歯科理工第7版の「成形修復材料」、「歯冠補綴用レジン」、「接着・合着用材料」、「義歯用材料」、「歯科用器械」、「切削・研削・研磨剤」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット6	スタンダード歯科理工第7版の「歯内療法関連材料」、「インプラント用材料」、「矯正用材料」を参考に学習テーマについて学習する。	

## 口腔衛生学

月曜日 2限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	「公衆衛生マニュアル2025」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット2	「公衆衛生マニュアル2025」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット3	「公衆衛生マニュアル2025」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット4	「公衆衛生マニュアル2025」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット5	「公衆衛生マニュアル2025」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット6	「公衆衛生マニュアル2025」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット7	「公衆衛生マニュアル2025」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット8	「公衆衛生マニュアル2025」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット9	「公衆衛生マニュアル2025」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット10	「公衆衛生マニュアル2025」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット11	「公衆衛生マニュアル2025」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット12	「歯科六法コンメンタール」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット13	「歯科六法コンメンタール」を参考に講義テーマについて学習する。	

## 歯内療法学

月曜日 3限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	「歯内療法学」p.57～59, 93～96, 177～182を確認する。	
ユニット2	「歯内療法学」p.151～160を確認する。	
ユニット3	「歯内療法学」p.160～171を確認する。	
ユニット4	「歯内療法学」p.183～190を確認する。	
ユニット5	「歯内療法学」p.171～176, 259～264を確認する。	
ユニット6	「歯内療法学」p.239～247, 191～198, 275を確認する。	
ユニット7	「歯内療法学」p.199～209を確認する。	
ユニット8	「歯内療法学」p.199～209, p.235～238を確認する。	
ユニット9	「歯内療法学」p.211～217を確認する。	
ユニット10	「歯内療法学」p.217～223を確認する。	
ユニット11	「歯内療法学」p.225～234, 249～257を確認する。	
ユニット12	「歯内療法学」p.265～280を確認する。	
ユニット13	「歯内療法学」p.265～280を確認する。	

## 統合基礎歯学（解剖学）

月曜日 4限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	第2、3学年で学習したレジュメと口腔解剖学第2版P94-120を読み頭蓋骨の要点を確認する。	
ユニット2	第2、3学年で学習したレジュメと口腔解剖学第2版P121-129を読み頭頸部の筋の要点を確認する。	
ユニット3	第2、3学年で学習したレジュメと口腔解剖学第2版P159-169を読み頭頸部の神経の要点を確認する。	
ユニット4	第2、3学年で学習したレジュメと口腔解剖学第2版P133-134を読み頭頸部の神経の要点を確認する。	
ユニット5	第2、3学年で学習したレジュメと口腔解剖学第2版P170-188を読み頭頸部の神経の要点を確認する。	
ユニット6	ユニット1-5で学習した内容を改めて確認する。	

## 統合基礎歯学（組織学）

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	ダウンロードした講義資料と第3学年時の組織学講義内容、第3学年時の組織学実習スケッチで要点を確認する。	
ユニット2	ダウンロードした講義資料と第2学年時の組織学講義内容、第3学年時の組織学実習スケッチで要点を確認する。	
ユニット3	ダウンロードした講義資料と第2学年時の組織学講義内容、第3学年時の組織学実習スケッチで要点を確認する。	
ユニット4	ダウンロードした講義資料と第2学年時の組織学講義内容、第3学年時の組織学実習スケッチで要点を確認する。	
ユニット5	ダウンロードした講義資料と第2学年時の組織学講義内容、第3学年時の組織学実習スケッチで要点を確認する。	
ユニット6	ダウンロードした講義資料と第2学年時の組織学講義内容、第3学年時の組織学実習スケッチで要点を確認する。	

## 総合基礎歯学（病理学）

火曜日 1 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	循環障害・代謝障害に関する事象(用語の定義)を再確認する。	
ユニット2	炎症の病理学的特徴(構成要素・分類・発生機序・転帰)を再確認する。	
ユニット3	口腔粘膜の潰瘍・水疱・色調変化を生じる病変を再確認する。	
ユニット4	歯原性腫瘍の組織学的特徴を再確認する。	
ユニット5	唾液腺に生じる炎症性・腫瘍性病変の特徴を再確認する。	
ユニット6	口腔組織に生じる嚢胞の特徴を再確認する。	

## 総合基礎歯学（生化学）

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	「イラストレイテッド生化学」p.107～200、p.227～258、p.317～335を読んで要点を確認する。	
ユニット2	「イラストレイテッド生化学」p.491～514を読んで要点を確認する。	
ユニット3	イラストレイテッド生化学(第8版)の第30～33章を読んで要点を確認する。	
ユニット4	口腔生化学(第6版)の第4、5、6章とイラストレイテッド生化学(第8版)の第4章を読んで要点を確認する。	
ユニット5	口腔生化学(第6版)p231—248を読み、要点を確認する。	
ユニット6	口腔生化学(第6版)p188—229を読み、要点を確認する。	

## 総合基礎歯学（生理学）

火曜日 2 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	講義資料をダウンロードする。教科書p16-42、p50を参考に要点を確認する。	
ユニット2	講義資料をダウンロードする。教科書第16章(p322-342)を参考に要点を確認する。	
ユニット3	講義資料をダウンロードする。教科書p192-206、p219-220を参考に要点を確認する。	
ユニット4	講義資料をダウンロードする。教科書p51-75を参考に要点を確認する。	
ユニット5	講義資料をダウンロードする。教科書第5章(p103-122)を参考に要点を確認する。	
ユニット6	講義資料をダウンロードする。教科書p301-372を参考に要点を確認する。	

## 総合基礎歯学（薬理学）

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	歯科薬物療法学 p1-34を読み、Key Wordsを理解する。	
ユニット2	歯科薬物療法学 p35-52を読み、Key Wordsを理解する。	
ユニット3	歯科薬物療法学 p56-75を読み、Key Wordsを理解する。	
ユニット4	歯科薬物療法学 p81-97を読み、Key Wordsを理解する。	
ユニット5	歯科薬物療法学 p186-194、p201-209を読み、Key Wordsを理解する。	
ユニット6	歯学教育入門編を読み、漢方医学の概要と漢方薬の応用を理解する。	

# 統合臨床基礎学実習

火曜日 3・4限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	担当分野の配付資料を読み、該当項目について復習しておく。	
ユニット2	担当分野の配付資料を読み、該当項目について復習しておく。	
ユニット3	担当分野の配付資料を読み、該当項目について復習しておく。	
ユニット4	担当分野の配付資料を読み、該当項目について復習しておく。	
ユニット5	担当分野の配付資料を読み、該当項目について復習しておく。	
ユニット6	担当分野の配付資料を読み、該当項目について復習しておく。	
ユニット7	担当分野の配付資料を読み、該当項目について復習しておく。	
ユニット8	担当分野の配付資料を読み、該当項目について復習しておく。	
ユニット9	担当分野の配付資料を読み、該当項目について復習しておく。	
ユニット10	担当分野の配付資料を読み、該当項目について復習しておく。	
ユニット11	これまでの実習を振り返り、全体内容を再確認しておく。	

## 歯周病学実習

水曜日 1・2限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	Moodleに添付する実習用テキスト1を予習する。	
ユニット2	Moodleに添付する実習用テキスト2を予習する。	
ユニット3	Moodleに添付する実習用テキスト3を予習する。	
ユニット4	Moodleに添付する実習用テキスト4を予習する。	
ユニット5	Moodleに添付する実習用テキスト5を予習する。	
ユニット6	Moodleに添付する実習用テキスト6を予習する。	
ユニット7	Moodleに添付する実習用テキスト7を予習する。	
ユニット8	Moodleに添付する実習用テキスト8を予習する。	
ユニット9	Moodleに添付する実習用テキスト9を予習する。	
ユニット10	Moodleに添付する実習用テキスト10を予習する。	
ユニット11	Moodleに添付する実習用テキスト11を予習する。	
ユニット12	Moodleに添付する実習用テキスト12を予習する。	

## 歯周病学

水曜日 3限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第5章 p142-181を予習する。	
ユニット2	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第5章 p205-207を予習する。	
ユニット3	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第3章 p54-75を予習する。	
ユニット4	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第3章 p54-75を予習する。	
ユニット5	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第9章 p254-276を予習する。	
ユニット6	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第9章 p254-276を予習する。	
ユニット7	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第5章 p210-221を予習する。	
ユニット8	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第6章 p222-236を予習する。	
ユニット9	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第8章 p245-253を予習する。	
ユニット10	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第5章 p185-190を予習する。	
ユニット11	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第2章p1-2,36-39,第9章p254-276,第4章p76-99を予習する。	
ユニット12	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第5章 p104-141を予習する。	
ユニット13	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第5章 p142-181を予習する。	

# 口腔インプラント学

水曜日 4限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	よくわかる口腔インプラント学第4版p1-8, 13-15, 19-25, 54-62, 134-139の要点を確認する。	
ユニット2	よくわかる口腔インプラント学第4版p37-50の要点を確認する。	
ユニット3	よくわかる口腔インプラント学第4版p31-36, 66-70の要点を確認する。	
ユニット4	よくわかる口腔インプラント学第4版p9-12, 16-18, 71-90, 96-105の要点を確認する。	
ユニット5	よくわかる口腔インプラント学第4版26-30, 90-95, 106-133, 140-144, 266-267の要点を確認する。	
ユニット6	よくわかる口腔インプラント学第4版p145-170, 268-270, 285-296の要点を確認する。	
ユニット7	よくわかる口腔インプラント学第4版p173-189, 271-273の要点を確認する。	
ユニット8	よくわかる口腔インプラント学第4版p171-173, 190-202の要点を確認する。	
ユニット9	よくわかる口腔インプラント学第4版p63-65, 203-216の要点を確認する。	
ユニット10	よくわかる口腔インプラント学第4版p217-234の要点を確認する。	
ユニット11	よくわかる口腔インプラント学第4版p235-265の要点を確認する。	
ユニット12	よくわかる口腔インプラント学第4版p296-328の要点を確認する。	
ユニット13	よくわかる口腔インプラント学第4版p51-53, 274-284の要点を確認する。	

# 障害者歯科学

木曜日 1 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	教科書 スペシャルニーズデンティストリー—障害者歯科のp2-22を予習する。	
ユニット2	事前配付の講義スライド資料を確認する。	
ユニット3	教科書 スペシャルニーズデンティストリー—障害者歯科のp40-57を予習する。	
ユニット4	教科書 スペシャルニーズデンティストリー—障害者歯科のp58-119を予習する。	
ユニット5	教科書 スペシャルニーズデンティストリー—障害者歯科のp40-55およびp120-122を予習する。	
ユニット6	教科書 歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学 第2版(新版)のp100-113, p166-169を予習する。	
ユニット7	教科書 歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学 第2版(新版)のp50-57, p100-113を予習する。	
ユニット8	教科書 スペシャルニーズデンティストリー—障害者歯科のp147-162を予習する。	
ユニット9	教科書 スペシャルニーズデンティストリー—障害者歯科のp168-200を予習する。	
ユニット10	教科書 スペシャルニーズデンティストリー—障害者歯科のp208-244, p277-298を予習する。	
ユニット11	教科書 スペシャルニーズデンティストリー—障害者歯科のp229-236を予習する。	
ユニット12	教科書 スペシャルニーズデンティストリー—障害者歯科のp245-276を予習する。	
ユニット13	小児在宅歯科医療の手引き p10-19を予習する。	

# 部分床義歯補綴学

木曜日 2 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	歯学生のパーシャルデンチャー 43-50, 164-170, 174-178頁を読み、要点を確認する。	
ユニット2	歯学生のパーシャルデンチャー 37-42, 170-174, 199-211頁を読み、要点を確認する。	
ユニット3	歯学生のパーシャルデンチャー 212-218頁を読み、要点を確認する。	
ユニット4	歯学生のパーシャルデンチャー 34-36頁を読み、要点を確認する。	
ユニット5	ユニット1-4の講義内容の資料と教科書を読み、要点を確認する。	
ユニット6	歯学生のパーシャルデンチャー 225-234頁を読み、要点を確認する。	
ユニット7	歯学生のパーシャルデンチャー 93, 104-105, 191-198, 244-248頁を読み、要点を確認する。	
ユニット8	歯学生のパーシャルデンチャー 261-269頁を読み、要点を確認する。	
ユニット9	歯学生のパーシャルデンチャー 22-24, 122-123頁を読み、要点を確認する。	
ユニット10	後期の講義内容の資料と教科書を読み、要点を確認する。	
ユニット11	後期の講義内容の資料と教科書を読み、要点を確認する。	
ユニット12	後期の講義内容の資料と教科書を読み、要点を確認する。	
ユニット13	後期の講義内容の資料と教科書を読み、要点を確認する。	

# 部分床義歯補綴学実習

木曜日 3・4限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	有床義歯補綴学実習書 1～24頁を読み、要点を確認する。	
ユニット2	有床義歯補綴学実習書 25～33頁を読み、要点を確認する。	
ユニット3	有床義歯補綴学実習書 34～36頁を読み、要点を確認する。	
ユニット4	有床義歯補綴学実習書 37～40、44～47頁を読み、要点を確認する。	
ユニット5	有床義歯補綴学実習書 41～44、48～52頁を読み、要点を確認する。	
ユニット6	有床義歯補綴学実習書 53～59、74～80頁を読み、要点を確認する。	
ユニット7	有床義歯補綴学実習書 81～96頁を読み、要点を確認する。	
ユニット8	有床義歯補綴学実習書 60～73、97～99頁を読み、要点を確認する。	
ユニット9	有床義歯補綴学実習書 100～102頁を読み、要点を確認する。	
ユニット10	有床義歯補綴学実習書 103～124頁を読み、要点を確認する。	
ユニット11	有床義歯補綴学実習書 1～124頁を読み、要点を確認する。	

## 口腔内科学（有病者歯科学を含む）

金曜日 1 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	口腔内科学p.594-603を読み、内容を確認する。	
ユニット2	口腔内科学p.202-209を読み、内容を確認する。	
ユニット3	口腔内科学p.210-216を読み、内容を確認する。	
ユニット4	口腔内科学p.217-223を読み、内容を確認する。	
ユニット5	口腔内科学p.385-411を読み、内容を確認する。	
ユニット6	口腔内科学p.169-172, 383-384を読み、内容を確認する。	
ユニット7	口腔内科学p.412-430を読み、内容を確認する。	
ユニット8	口腔内科学p.568-569,583-593を読み、内容を確認する。	
ユニット9	口腔内科学p.570-583を読み、内容を確認する。	
ユニット10	口腔内科学p.461-491を読み、内容を確認する	
ユニット11	口腔内科学p.438-440,443-447,492-500を読み、内容を確認する。	
ユニット12	口腔内科学p.293-303を読み、内容を確認する。	
ユニット13	ユニット1~12の内容を復習する。	

## 歯科麻酔・救急処置

金曜日 2 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	歯科麻酔学第8版p24-37,85-87の要点を確認する。	
ユニット2	歯科麻酔学第8版p37-50,87-89の要点を確認する。	
ユニット3	歯科麻酔学第8版p197-217の要点を確認する。	
ユニット4	歯科麻酔学第8版p217-238の要点を確認する。	
ユニット5	歯科麻酔学第8版p238-250の要点を確認する。	
ユニット6	歯科麻酔学第8版p250-275の要点を確認する。	
ユニット7	歯科麻酔学第8版p90-107,275-283の要点を確認する。	
ユニット8	歯科麻酔学第8版p283-297の要点を確認する。	
ユニット9	歯科麻酔学第8版p297-313,p401-413,432-444の要点を確認する。	
ユニット10	歯科麻酔学第8版p414-431,445-453の要点を確認する。	
ユニット11	歯科麻酔学第8版p454-460,465-476の要点を確認する。	
ユニット12	歯科麻酔学第8版p460-465,497-503の要点を確認する。	
ユニット13	歯科麻酔学第8版p476-488の要点を確認する。	

# 口腔外科の基本手技（インプラント実習含む）

金曜日 3・4限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	教科書「SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療」の該当箇所を予習する。	
ユニット2	教科書「SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療」の該当箇所を予習する。	
ユニット3	教科書「SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療」の該当箇所を予習する。	
ユニット4	教科書「SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療」の該当箇所を予習する。	
ユニット5	教科書「SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療」の該当箇所を予習する。	
ユニット6	教科書「SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療」の該当箇所を予習する。	
ユニット7	教科書「SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療」の該当箇所を予習する。	
ユニット8	インプラント体埋入手術:実習書p1-11, 16-18, 22-25, 26-31, 62-65, 教科書p140-161を予習する。	
ユニット9	インプラント二次手術:実習書p32-34, 62-65, 教科書p165-170を予習する。	
ユニット10	教科書「歯科麻酔・全身管理学の手引き」の該当箇所を予習する。	
ユニット11	インプラントの印象採得:実習書p35-43, 教科書p171-185を予習する。	

# 総合基礎歯学〔微生物学〕

月曜日 9:00~10:30

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯科医師として要求される生体防御学の知識を総合的に理解するために、これまでに学習した基礎微生物学、免疫学を再度整理し直して修得する。

## 教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

石原和幸 他 編集

口腔微生物学

第7版

学建書院

## 担当者一覧

高橋幸裕, 才木桂太郎, 田代有美子

## 学習方略

- 講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験 [100%]       論述試験 [--%]       口頭試験 [--%]       レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 ( )

## オフィスアワー

日時: 月~金 16:30~18:00

場所: 本館5階 微生物学研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
9月19日	才木桂太郎 * 金曜日	ユニット1: 化学療法・消毒・院内感染 * オンライン実施	1) 抗菌薬使用の目的, 種類および作用機序を説明する。(C-4-1)-⑤, C-4-1)-③) 2) 薬剤耐性について説明する。(C-4-1)-⑤) 3) 消毒と滅菌の意義, 原理および代表的な方法を説明する。(C-4-1)-④) 4) 院内感染の防止方法について説明する。(C-4-1)-④)
10月6日	才木桂太郎	ユニット2: 免疫担当細胞・抗原提示と抗原認識・自然免疫・獲得免疫	1) 自然免疫の種類と機能を説明する。(C-4-2)-①) 2) 獲得免疫の種類と機能を説明する。(C-4-2)-②) 3) 免疫担当細胞の種類と機能を説明する。(C-4-2)-③) 4) ワクチンの意義と種類, 特徴及び副反応を説明する。(C-4-2)-⑧) 5) 免疫グロブリンや補体の基本的性質を説明する。(C-4-2)-②) 6) 抗原提示機能と免疫寛容を説明する。(C-4-2)-④) 7) 粘膜免疫を説明する。(C-4-2)-⑦)
10月27日	才木桂太郎	ユニット3: 感染論・アレルギー・自己免疫疾患・免疫不全	1) 感染における宿主と寄生体の諸要因について説明する。(C-4-2)-④) 2) 菌交代症, 日和見感染症について説明する。(C-4-1)-⑤) 3) アレルギーを分類する。(C-4-2)-⑤) 4) アレルギー疾患の種類と発症を説明する。(C-4-2)-⑤) 5) 自己免疫疾患について説明する。(C-4-2)-⑥) 6) 免疫不全症について記述する。(C-4-2)-⑥)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
11 月 17 日	田代有美子	ユニット4：微生物学総論・グラム陽性菌	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 細菌を分類学および形態学的に対比する。(C-4-1)-①)</li> <li>2) 病原微生物の生化学的特徴を説明する。(C-4-1)-①)</li> <li>3) グラム陽性菌の種類と形態学的特徴，生理学的性状を説明する。(C-4-1)-①)</li> <li>4) グラム陽性菌の宿主に対する病原性と引き起こす感染症を説明する。(C-4-1)-②)</li> <li>5) グラム陽性菌が原因となる感染症の種類，予防，診断及び治療を説明する。(C-4-1)-③)</li> </ol>
12 月 4 日	田代有美子 *木曜日	ユニット5：グラム陰性菌・スピロヘータ・クラミジア・リケッチア・マイコプラズマ・真菌	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) グラム陰性菌の種類と形態学的特徴，生理学的性状を説明する。(C-4-1)-①)</li> <li>2) グラム陰性菌の宿主に対する病原性と引き起こす感染症を説明する。(C-4-1)-②)</li> <li>3) グラム陰性菌が原因となる感染症の種類，予防，診断及び治療を説明する。(C-4-1)-③)</li> <li>4) スピロヘータ，クラミジア，リケッチア，マイコプラズマ，真菌の種類と形態学的特徴，生理学的性状を説明する。(C-4-1)-①)</li> <li>5) スピロヘータ，クラミジア，リケッチア，マイコプラズマ，真菌の宿主に対する病原性と引き起こす感染症を説明する。(C-4-1)-②)</li> <li>6) スピロヘータ，クラミジア，リケッチア，マイコプラズマ，真菌が原因となる感染症の種類，予防，診断及び治療を説明する。(C-4-1)-③)</li> </ol>
12 月 8 日	高橋 幸裕	ユニット6：ウイルス学・口腔微生物学	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) ウイルスの構造と分類について述べる。(C-4-1)-①)</li> <li>2) ウイルスの増殖について説明する。(C-4-1)-①)</li> <li>3) ウイルスの培養と定量について記述する。(C-4-1)-①)</li> <li>4) 各ウイルス種の形態学的特徴，生理学的性状，宿主に対する病原性と引き起こす感染症を説明する。(C-4-1)-①，C-4-1)-②)</li> <li>5) 抗ウイルス化学療法について説明する。(C-4-1)-③)</li> <li>6) ウイルスの消毒について説明する。(C-4-1)-③)</li> <li>7) 口腔細菌叢とその変化を説明する。(C-4-1)-①)</li> <li>8) ペリクルの由来と構成について説明する。(C-4-2)-①)</li> <li>9) デンタルプラークを定義する。(C-4-1)-①)</li> <li>10) 口腔常在菌の形態学的特徴と基本的性状を説明する。(C-4-1)-①)</li> <li>11) う蝕病原性細菌の感染機構とう蝕病原性を説明する。(C-4-1)-②)</li> <li>12) 歯周病原性細菌の感染機構と歯周病原性を説明する。(C-4-1)-②)</li> <li>13) バクテリアルトランスロケーションを説明する。(C-4-1)-③)</li> </ol>

# 総合基礎歯学〔歯科理工学〕

月曜日 9:00~10:30

## 本学期的学習目標 (GIO)

2, 3年生で学習した歯科理工学の内容を整理, 復習し, 臨床系科目で学習した材料・技術と整合させて理解する。

## 教科書・参考書

### 著者・編集

### 書名

### 版

### 出版社

中嶋 裕, 宮崎 隆,  
米山隆之: 編集幹事

スタンダード歯科理工学  
—生体材料と歯科材料—

第7版

学建書院

## 担当者一覧

新谷明一, 石田祥己, 三浦大輔, 青柳有祐

## 学習方略

- 講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験 [100%]       論述試験 [--%]       口頭試験 [--%]       レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 (プレ・ポストテスト [--%])

## オフィスアワー

日時: 毎週 月曜日 12:10~13:00

場所: 本館4階 歯科理工学講座実習室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
9月22日	三浦 大輔	ユニット1: 物理的, 化学的, 生物学的性質, 機械的性質	1) 物理的性質を説明する。(D-1-②) 2) 化学的性質を説明する。(D-1-②) 3) 材料の生体刺激性, アレルギーを列記する。(D-1-②) 4) 応力とひずみを説明する。(D-1-②) 5) 応力-ひずみ曲線と関連する諸性質の材料選択上の意義を記述する。(D-1-②) 6) 塑性変形を説明する。(D-1-②) 7) 強さの種類, 性質を説明する。(D-1-②) 8) 硬さの種類, 性質を説明する。(D-1-②) 9) 粘弾性を説明する。(D-1-②)
9月29日	石田 祥己	ユニット2: 印象材, 模型材, 陶材	1) 印象材の組成, 性質を列記する。(D-1-①) 2) 印象材の細部再現性, 寸法変化, 印象精度を類別する。(D-1-①) 3) 模型材の種類, 組成, 性質を説明する。(D-1-①) 4) 印象材と模型の関連性を具体的に述べる。(D-1-①) 5) 陶材を分類する。(D-2-②) 6) 陶材の成分および特徴を述べる。(D-2-②) 7) 陶材の強化法を説明する。(D-2-②) 8) 金属への焼付機構を記述する。(D-2-②)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月20日	三浦 大輔	ユニット3：歯科精密鑄造	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) ワックスパターン取り扱いと変形防止策を説明する。(D-2-②)</li> <li>2) 埋没材の種類、特性を説明する。(D-2-②)</li> <li>3) 鑄造用合金と埋没材の組合せを説明する。(D-2-②)</li> <li>4) 合金の融解・鑄込の条件を説明する。(D-2-②)</li> <li>5) 鑄造条件と鑄造欠陥の発生を説明する。(D-2-②)</li> <li>6) 鑄造体の寸法精度と適合について説明する。(D-2-②)</li> </ol>
11月5日	青柳 有祐 *水曜日5限	ユニット4：合金、合金の成形加工、熱処理、ろう付け	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 歯科用合金を分類する。(D-2-②)</li> <li>2) 金合金の組成を説明する。(D-2-②)</li> <li>3) 金合金の規格を述べる。(D-2-②)</li> <li>4) 金銀パラジウム合金を説明する。(D-2-②)</li> <li>5) 非貴金属合金についてまとめる。(D-2-②)</li> <li>6) 加工硬化・再結晶軟化を説明する。(D-2-②)</li> <li>7) 歯科用合金の熱処理法を説明する。(D-2-②)</li> <li>8) 合金の接合法としてのろう付け、電気溶接、レーザー溶接を説明する。(D-2-②)</li> </ol>
11月10日	青柳 有祐	ユニット5：切削、研削、研磨、合着、接着材、成形修復材料、セメント、腐食、歯科用機器・器具、歯科用レジン	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 研削、研磨材の種類と使用法を列挙する。(D-1-③)</li> <li>2) 研磨の能率を説明する。(D-1-③)</li> <li>3) 電解研磨を説明する。(D-1-③)</li> <li>4) 切削、研磨に用いる機器とその特徴を記述する。(D-1-③)</li> <li>5) セメントの組成および性質を述べる。(D-2-③)</li> <li>6) 臨床上的取扱法を具体的に述べる。(D-2-③)</li> <li>7) 腐食を説明する。(D-1-③)</li> <li>8) 歯科用機器・器具を説明する。(D-1-③)</li> <li>9) 加熱重合レジンと常温重合レジンの組成、重合法、性質を比較する。(D-2-②)</li> <li>10) コンポジットレジン、グラスアイオノマーセメント、アマルガム、硬質レジンの組成、重合方法、硬化機構を説明する。(D-2-①)</li> </ol>
12月1日	青柳 有祐	ユニット6：矯正用材料、歯内・歯周材料、インプラント材料	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 矯正用ワイヤーの機械的性質を説明する。(D-2-④)</li> <li>2) 仮封材料の特性を説明する。(D-2-④)</li> <li>3) 歯周治療材料の特性を説明する。(D-2-⑥)</li> <li>4) 歯科インプラント材を説明する。(D-2-⑤)</li> <li>5) インプラント材料の種類と特徴を説明する。(D-2-⑤)</li> <li>6) 骨補填材の種類と特徴を説明する。(D-2-⑤)</li> </ol>

# 口腔衛生学

月曜日 10:40~12:10

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯科医師法第1条が定める歯科医師最大の任務「公衆衛生の向上に寄与する歯科医師」に必須の公衆衛生を、一層深く洞察する能力修得のため、広義の地域保健および地域歯科保健活動について学ぶ。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
松久保 隆, 八重垣 健, 前野正夫	口腔衛生学2022	第2版	一世出版
社会歯科学会	歯科六法コンメンタール	第2版	ヒョーロン
柳川 洋, 中村好一	公衆衛生マニュアル2025	第40版	南山堂

## 担当者一覧

田中とも子, 大島克郎, 一宮頼子, 佐藤勝弘, 山下万美子, 林田尚斗

## 学習方略

講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [60%]     論述試験 [40%]     口頭試験 [--%]     レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]     シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [--%]     観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]     その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 毎週火曜日 16:00~17:00 および登校日であれば随時  
 場所: 本館5階 衛生学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
9月19日	林田 尚斗 * 金曜日	ユニット1: 地域保健・予防歯科の概念 * オンライン実施	1) ヘルスプロモーションについて述べる。(B-2-2)-①) 2) 地域保健の概念を概略する。(B-2-2)-①) 3) 地域保健法を説明する。(B-2-2)-①) 4) 保健所, 市町村保健センターの歯科保健業務を列挙する。(B-2-2)-①)
9月22日	田中とも子	ユニット2: 臨床疫学	1) 有病・罹患について説明する。(B-4-1)-③) 2) スクリーニング検査の目的について列記する。(B-4-1)-②) 3) スクリーニング検査の信頼性の指標について説明する。(B-4-1)-②) 4) 治療効果の評価法について述べる。(B-4-1)-①)
9月29日	一宮 頼子	ユニット3: 地域保健	1) 地域歯科保健の仕組みについて述べる。(B-2-2)-①) 2) 健康日本21 (歯の健康) について説明する。(B-2-2)-①) 3) 地域歯科保健活動のすすめ方を説明する。(B-2-2)-①) 4) 地域歯科保健と歯科医師の役割を説明する。(B-2-2)-①) 5) 行政と地域歯科保健について述べる。(B-2-2)-①, B-3-2)-①)
10月6日	田中とも子	ユニット4: 社会保障・社会福祉概論	1) 社会保障制度・医療制度を理解する。(B-2-2)-③) 2) 公的医療制度を説明する。(B-2-2)-③) 3) 介護保険制度を説明する。(B-2-2)-③)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月20日	一宮 頼子	ユニット5：母子保健	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 母子保健関連の法律を列挙する。(B-3-2)-③)</li> <li>2) わが国の母子保健水準の現状を説明する。(B-3-2)-③)</li> <li>3) 母子保健・歯科保健対策について述べる。(B-3-2)-③)</li> <li>4) 妊産婦の口腔保健管理を説明する。(B-3-2)-③)</li> <li>5) 乳幼児の歯科保健管理を説明する。(B-3-2)-③)</li> </ul>
10月27日	林田 尚斗	ユニット6：学校保健	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 学校保健関連の法律を説明する。(B-3-2)-③)</li> <li>2) 学校感染症を説明する。(B-3-2)-③)</li> <li>3) 保健管理組織を説明する。(B-3-2)-③)</li> <li>4) 学校（歯科）保健制度について述べる。(B-3-2)-③)</li> <li>5) 学校（歯科）健康診断について説明する。(B-3-2)-③)</li> <li>6) 歯科保健教育と歯科保健指導を具体的に述べる。(B-3-2)-③)</li> </ul>
11月10日	林田 尚斗	ユニット7：成人・高齢者保健・医療・福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 成人・高齢者歯科保健関連法律を列挙する。(B-3-2)-③)</li> <li>2) 成人・高齢者歯科保健制度を述べる。(B-3-2)-③)</li> <li>3) 成人・高齢者歯科保健活動を説明する。(B-3-2)-③)</li> </ul>
11月17日	佐藤 勝弘	ユニット8：要介護者保健・医療・福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 介護・福祉に関連法律を列挙する。(B-3-2)-③)</li> <li>2) 要介護者の歯科保健制度を説明する。(B-3-2)-③)</li> <li>3) 要介護者の歯科保健管理について述べる。(B-3-2)-③)</li> </ul>
11月26日	佐藤 勝弘 *水曜5限	ユニット9：医療資源・国民医療費	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 医療経済の現状を説明する。(B-2-2)-②)</li> <li>2) 医療関係者・医療施設の現状を説明する。(A-7-1)-②)</li> <li>3) 国民医療費の現状を概説する。(B-2-2)-②)</li> <li>4) 医療法を解説する。(B-2-1)-②)</li> <li>5) 地域医療計画の概略を述べる。(A-7-1)-②)</li> </ul>
12月1日	田中とも子	ユニット10：産業保健	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 産業歯科保健関連の法律を列挙する。(B-3-2)-③)</li> <li>2) 産業歯科保健制度について述べる。(B-3-2)-③)</li> <li>3) 産業歯科保健活動について説明する。(B-3-2)-③)</li> <li>4) 歯にみられる職業性疾患について述べる。(B-3-2)-③)</li> <li>5) 労働者の健康保持増進対策と口腔保健について関係づける。(B-3-2)-③)</li> </ul>
12月4日	林田 尚斗 *木曜日	ユニット11：医事法制概論	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 法の意義について説明する。(B-2-1)-①～⑦)</li> <li>2) 法の種類を説明する。(B-2-1)-①～⑦)</li> <li>3) 歯科保健医療関連法規を概説する。(B-2-1)-①～⑦)</li> </ul>
12月4日	大島 克郎 *木曜5限	ユニット12：歯科保健医療関係法規 (1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 歯科医師法を概説する。(B-2-1)-①)</li> <li>2) 歯科衛生士法を概説する。(B-2-1)-③)</li> <li>3) 歯科技工士法を概説する。(B-2-1)-③)</li> </ul>
12月8日	山下万美子	ユニット13：歯科保健医療関係法規 (2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 医師法について概説する。(B-2-1)-③)</li> <li>2) 薬剤師法について概説する。(B-2-1)-③)</li> <li>3) 保健・医療・福祉関連職種に関わる法律を説明する。(B-2-1)-③)</li> <li>4) 歯科口腔保健の推進に関する法律を概説する。(B-2-1)-⑤)</li> <li>5) 健康増進法を概説する。(B-2-1)-⑤)</li> <li>6) 健康日本21（3次）を説明する。(B-2-1)-⑤)</li> </ul>

# 歯内療法学

※実務経験のある教員等による授業科目

月曜日 13:10~14:40

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯髄疾患および根尖性歯周疾患の治療法を理解するために、必要な知識を整理し、歯内療法臨床の基本的術式に関する知識を修得する。

## 教科書・参考書

### 著者・編集

### 書名

### 版

### 出版社

勝海一郎, 興地隆史, 石井信之, 中田和彦 編	歯内治療学	第5版	医歯薬出版
興地隆史, 石井信之, 北村知昭, 林 美加子 編集主幹	エンドドンティクス	第6版	永末書店
中原 泉, 藤井一維 編集代表	常用歯科辞典	第4版	医歯薬出版

## 担当者一覧

西田太郎, 関谷美貴, 三枝慶祐

## 学習方略

講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [60%]       論述試験 [40%]       口頭試験 [--%]       レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 毎週月曜日 16:30~17:30

場所: 100周年記念館4階 歯科保存学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
9月19日	三枝 慶祐 *金曜日	ユニット1: 緊急処置 *オンライン実施	1) 疼痛を伴う歯内疾患を説明する。 (E-3-3-(2)-①) 2) 急性歯髄炎の緊急処置を説明する。 (E-3-3-(2)-①) 3) 急性根尖性歯周炎の緊急処置を説明する。 (E-3-3-(2)-①)
9月22日	関谷 美貴	ユニット2: 根管充填 (1)	1) 根管充填の意義と目的を説明する。 (E-3-3-(2)-②) 2) 根管充填の時期について説明する。 (E-3-3-(2)-②) 3) 根管充填に使用する材料と薬剤を列記する。 (D-2-⑥) 4) 根管充填に使用する材料と薬剤の特徴を説明する。 (D-2-⑥)
9月29日	関谷 美貴	ユニット3: 根管充填 (2)	1) 固形体による根管充填法の適応症, 特徴, 術式を説明する。(E-3-3-(2)-②) 2) 半固形体による根管充填法の適応症, 特徴, 術式を説明する。(E-3-3-(2)-②) 3) 糊剤による根管充填法の適応症, 特徴, 術式を説明する。(E-3-3-(2)-②) 4) 即時根管充填法の適応症, 特徴, 術式を説明する。(E-3-3-(2)-②)
10月6日	関谷 美貴	ユニット4: 根末完成歯の治療	1) アペキシゲネーシス法について説明する。 (E-4-2)-⑤) 2) アペキシフィケーション法について説明する。 (E-4-2)-⑤)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月20日	関谷 美貴	ユニット5：歯内療法後の予後判定，根管充填後の修復	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 根尖部創傷の治癒機転を説明する。(E-3-3-(2)-④)</li> <li>2) 根管充填の予後に影響を及ぼす因子を説明する。(E-3-3-(2)-④)</li> <li>3) 治癒成績の判定方法を説明する。(E-3-3-(2)-④)</li> <li>4) 治癒成績の判定基準と時期を説明する。(E-3-3-(2)-④)</li> <li>5) 根管充填の治癒成績を説明する。(E-3-3-(2)-④)</li> <li>6) 根管充填後の歯冠修復の意義と方法を説明する。(E-3-3-(1)-⑧)</li> </ol>
10月27日	西田 太郎	ユニット6：歯内－歯周疾患，吸収添加，歯性上顎洞炎	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 歯内－歯周疾患の原因と分類法を説明する。(E-3-3-(2)-①)</li> <li>2) 歯内－歯周疾患治療の意義と目的を説明する。(E-3-3-(2)-①)</li> <li>3) 歯内－歯周疾患の診断と治療法を説明する。(E-3-3-(2)-①)</li> <li>4) 歯根の外部吸収の原因と診断，治療法を説明する。(E-3-3-(2)-⑦)</li> <li>5) セメント質添加の原因と診断，治療法を説明する。(E-3-3-(2)-①)</li> <li>6) 根管と上顎洞との関係を説明する。(E-2-2)-⑦)</li> <li>7) 歯性上顎洞炎の診断と治療法を説明する。(E-2-4-(3)-⑥)</li> </ol>
10月29日	三枝 慶祐 *水曜日5限	ユニット7：歯の外傷（1）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 歯の外傷の種類を列記し，その分類法を説明する。(E-2-4-(2)-①)</li> <li>2) 歯の外傷の特徴について説明する。(E-2-4-(2)-①)</li> <li>3) 歯の亀裂の種類と症状，診査・診断，治療法を説明する。(E-2-4-(2)-③)</li> <li>4) 歯冠破折の種類と症状，診査・診断，治療法を説明する。(E-2-4-(2)-③)</li> <li>5) 歯根破折の種類と症状，診査・診断，治療法を説明する。(E-2-4-(2)-③)</li> <li>6) 水平性の歯根破折の症状，診査・診断，治療法を説明する。(E-2-4-(2)-③)</li> <li>7) 垂直性の歯根破折の症状，診査・診断，治療法を説明する。(E-2-4-(2)-③)</li> </ol>
11月10日	三枝 慶祐	ユニット8：歯の外傷（2），変色歯の処置法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 歯の脱臼の種類と特徴について説明する。(E-2-4-(2)-①)</li> <li>2) 歯の脱臼の症状と診査・診断，治療法を説明する。(E-2-4-(2)-③)</li> <li>3) 歯の陥入の症状と診査・診断，治療法を説明する。(E-2-4-(2)-③)</li> <li>4) 歯の脱落について説明する。(E-2-4-(2)-①)</li> <li>5) 脱落歯に対する診査・診断，治療法，予後を説明する。(E-2-4-(2)-③)</li> <li>6) 歯の変色の原因を列記する。(E-3-3-(2)-⑥)</li> <li>7) 漂白法の種類と術式を説明する。(E-3-3-(2)-⑥)</li> </ol>

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SBOs）
11月17日	西田 太郎	ユニット9：外科的歯内療法（1）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 外科的歯内療法の意義と目的を説明する。(E-3-3-(2)-⑤)</li> <li>2) 外科的歯内療法の適応症と禁忌症を説明する。(E-3-3-(2)-⑤)</li> <li>3) 外科的歯内療法の種類を列記する。(E-3-3-(2)-⑤)</li> <li>4) 外科的排膿路の確保の種類と術式を説明する。(E-3-3-(2)-⑤)</li> <li>5) 根尖搔爬法の術式を説明する。(E-3-3-(2)-⑤)</li> <li>6) 歯根尖切除法の術式を説明する。(E-3-3-(2)-⑤)</li> <li>7) 逆根管充填法の術式を説明する。(E-3-3-(2)-⑤)</li> </ol>
11月19日	西田 太郎 *水曜日5限	ユニット10：外科的歯内療法（2）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 歯根切除法の術式を説明する。(E-3-3-(2)-⑤)</li> <li>2) ヘミセクションの術式を説明する。(E-3-3-(2)-⑤)</li> <li>3) 歯根分離法の術式を説明する。(E-3-3-(2)-⑤)</li> <li>4) 歯の再植法の術式を説明する。(E-3-3-(2)-⑤)</li> <li>5) 歯の移植法の術式を説明する。(E-3-3-(2)-⑤)</li> <li>6) 外科的歯内療法の予後を説明する。(E-3-3-(2)-⑤)</li> </ol>
12月1日	西田 太郎	ユニット11：顕微鏡応用，高齢者・有病者の治療	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 顕微鏡を応用した歯内療法を説明する。(E-3-3-(2)-⑤)</li> <li>2) 顕微鏡を応用した歯根尖切除法を説明する。(E-3-3-(2)-⑤)</li> <li>3) 高齢者・有病者の歯内療法における特徴を説明する。(E-3-3-(2)-①)</li> <li>4) 高齢者・有病者の歯内療法における留意点を説明する。(E-3-3-(2)-①)</li> <li>5) 根尖性歯周疾患が全身に及ぼす影響を説明する。(E-3-2)-②)</li> </ol>
12月4日	関谷 美貴 *木曜日	ユニット12：歯髄・根管処置時の安全対策（1）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 歯髄・根管処置における偶発症の種類を列記する。(A-6-1)-⑦)</li> <li>2) 偶発症防止の意義を説明する。(E-3-3-(2)-③)</li> <li>3) 偶発的露髄の原因や診査・診断，対処・防止法を説明する。(E-3-3-(2)-③)</li> <li>4) 髄室・根管壁穿孔の原因や診査・診断，対処・防止法を説明する。(E-3-3-(2)-③)</li> <li>5) 器具の根管破折の原因や診査・診断，対処・防止法を説明する。(E-3-3-(2)-③)</li> <li>6) 器具の嚙下と吸引の原因，診査・診断，対処・防止法を説明する。(E-3-3-(2)-③)</li> </ol>
12月8日	関谷 美貴	ユニット13：歯髄・根管処置時の安全対策（2）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 皮下気腫の原因や診査・診断，対処法，防止法を説明する。(E-3-3-(2)-③)</li> <li>2) 残髄炎の原因や診査・診断，対処・防止法を説明する。(E-3-3-(2)-③)</li> <li>3) 処置後の根尖性歯周疾患や診査・診断，対処・防止法を説明する。(E-3-3-(2)-③)</li> <li>4) 組織損傷の原因や診査・診断，対処・防止法を説明する。(E-3-3-(2)-③)</li> <li>5) 使用材（剤）の溢出の原因や診査・診断，対処・防止法を説明する。(E-3-3-(2)-③)</li> <li>6) 治療時の全身管理について説明する。(E-1-4-(1)-⑥)</li> </ol>



# 総合基礎歯学〔解剖学〕

月曜日 14:50~16:20

## 本学期的学習目標 (GIO)

人体の構造を画像で理解できる知識を修得する。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
前田健康 他編	口腔解剖学	第2版	医歯薬出版
阿部伸一 他編	口腔顎顔面解剖ノート	第1版	学建書院
金子丑之助 著	日本人体解剖学	第19版	南山堂
竹内修二 著	解剖トレーニングノート	第7版	医学教育出版社

## 担当者一覧

春原正隆, 井出吉昭, 前田祐貴

## 学習方略

講義   
  示説 (デモンストレーション)   
  グループワーク (PBL, TBLを含む)   
  実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [100%]   
  論述試験 [--%]   
  口頭試験 [--%]   
  レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]   
  シミュレーションテスト [--%]   
  実地試験 [--%]   
  観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]   
 その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 毎週水曜日 16:30~18:00  
 場所: 本館3階 解剖学第1講座研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
10月27日	井出 吉昭	ユニット1: 頭頸部の骨	1) 頭蓋骨の概要を説明する。(E-2-1)-②) 2) 側頭骨, 蝶形骨, 上顎骨, 下顎骨の形態について説明する。(E-2-1)-②) 3) 鼻腔, 副鼻腔, 骨口蓋, 翼口蓋窩, 顎関節の構造について説明する。(E-2-1)-②, E-2-1)-⑥, E-2-2)-⑦) 4) 頭蓋骨を通過する神経, 脈管の孔を説明する。(E-2-1)-②, E-2-1)-④, E-2-1)-⑤)
11月10日	井出 吉昭	ユニット2: 頭頸部の筋	1) 表情筋の起始, 停止, 作用, 神経支配を説明する。(E-2-1)-③) 2) 咀嚼筋の起始, 停止, 作用, 神経支配を説明する。(E-2-1)-③) 3) 舌骨上・下筋の起始, 停止, 作用, 神経支配を説明する。(E-2-1)-③) 4) 頸部三角と筋膜隙を構成する筋と形態学的特徴を説明する。(E-2-1)-③, E-2-1)-④, E-2-1)-⑤)
11月17日	井出 吉昭	ユニット3: 頭頸部の神経	1) 脳神経の概要を説明する。(E-2-1)-⑤) 2) 三叉神経の走行と働きを説明する。(E-2-1)-⑤) 3) 顔面神経の走行と働きを説明する。(E-2-1)-⑤) 4) 舌咽神経の走行と働きを説明する。(E-2-1)-⑤) 5) 迷走神経の走行と働きを説明する。(E-2-1)-⑤)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
12月1日	春原 正隆	ユニット4：頭頸部の脈管	1) 心臓の形態学的特徴と働きを説明する。 (C-3-4)-(4)-①) 2) 大動脈の分枝を列記する。(C-3-4)-(4)-②) 3) 頭頸部の脈管の概要を説明する。(E-2-1)-④) 4) 外頸動脈の分枝を列記する。(E-2-1)-④) 5) 顎動脈の経路と分枝を説明する。(E-2-1)-④) 6) 顔面動脈の経路と分枝を説明する。(E-2-1)-④) 7) 舌動脈の経路と分枝を説明する。(E-2-1)-④) 8) 頭頸部の主要な静脈を説明する。(E-2-1)-④) 9) 頭頸部のリンパ節の部位とリンパ管の経路を説明する。(E-2-1)-④)
12月4日	春原 正隆 *木曜日	ユニット5：頭頸部の内臓	1) 口蓋の筋の形態学的特徴を説明する。 (E-2-2)-①) 2) 舌の形態的特徴を説明する。 (E-2-1)-⑪, E-2-2)-⑩) 3) 唾液腺の形態学的特徴を説明する。 (E-2-2)-⑤, E-2-2)-⑥) 4) 咽頭の構成要素を説明する。(E-2-1)-⑪) 5) 喉頭の構成要素を説明する。(E-2-1)-⑪)
12月8日	春原 正隆	ユニット6：解剖学のまとめ	1) 学習項目を列記する。 2) 各項目の理解度を調べる。 3) 修得した知識を適用する。

# 総合基礎歯学〔組織学〕

月曜日 14:50~16:20

## 本学期的学習目標 (GIO)

臨床において求められる知識と応用力を身につけるために、第1～3学年で学んだ人体の諸器官、歯および口腔領域の諸器官の形状、微細構造、機能について知識の整理と再確認を実施する。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
阿部和厚・牛木辰男 著	組織学	改訂 20 版	南山堂
脇田 稔 他	口腔組織・発生学	第 3 版	医歯薬出版(株)
解剖学第 2 講座編集	組織学実習テキスト		日本歯科大学
磯川桂太郎 他	カラーアトラス 口腔組織発生学	第 4 版	わかば出版(株)
藤田恒太郎	歯の解剖学	第 22 版	金原出版(株)
菊池憲一郎・影山幾男・春原正隆 編著	歯の解剖学と歯型彫刻法	第 1 版	永末書店

## 担当者一覧

菊池憲一郎, 池田利恵, 小川清美

## 学習方略

講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBL を含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [100%]     論述試験 [--%]     口頭試験 [--%]     レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]     シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [--%]     観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]     その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時：講義終了後に担当者と確認する。  
場所：本館 6 階 解剖学第 2 講座研究室

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標 (SB0s)
9月19日	小川 清美 *金曜日	ユニット1：オリエンテーション, 口腔組織 -歯の発生, 歯の組織構造- *オンライン実施	1) 組織学の概要を説明する。(A-2-2)-①, ②) 2) 歯胚の発生にたずさわる胚葉とそれらの相互作用について述べる。(E-3-1)-①) 3) 歯の組織構造および性状について述べる。(E-3-1)-④)
9月19日	池田 利恵 *金曜日 5限	ユニット2：組織の構造と機能 (1) -細胞, 上皮組織, 筋組織- *オンライン実施	1) 細胞膜と細胞内小器官の構造と機能について説明する。(C-2-3)-①) 2) 細胞分裂と細胞死について述べる。(C-2-3)-③) 3) 上皮組織の種類と構造について述べる。(C-3-4)-(1)-①) 4) 筋組織の分類と分布, 特徴について説明する。(C-3-4)-(3)-①)
9月22日	菊池憲一郎	ユニット3：組織の構造と機能 (2) -支持組織, 結合組織, 特殊な支持組織 (軟骨・骨)-	1) 支持組織の分類と構造, 構成する細胞について説明する。(C-3-4)-(2)-②) 2) 結合組織の細胞と線維, 細胞外基質について説明する。(C-3-4)-(2)-②) 3) 軟骨の種類と特徴を述べる。(C-3-4)-(2)-③) 4) 骨の構造と構成する細胞を述べる。(C-3-4)-(2)-③, ④)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
9 月 29 日	池田 利恵	ユニット4：組織の構造と機能（3） -消化器系，歯周組織-	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 消化器系の組織を構成する細胞の特徴について述べる。(C-3-4)-(7)-①, ②, ③, E-2-2)-⑥)</li> <li>2) 歯周組織の構成成分を列挙する。(E-3-1)-⑥)</li> <li>3) 歯周組織の発生を説明する。(E-3-1)-⑥)</li> <li>4) 口腔粘膜の組織構造を説明する。(E-2-2)-②)</li> </ol>
10 月 6 日	菊池憲一郎	ユニット5：組織の構造と機能（4） -呼吸器系，内分泌系-	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 呼吸器系の組織を構成する細胞の特徴について述べる。(C-3-4)-(8)-①, ②)</li> <li>2) 内分泌系の基本構造について説明する。 (C-3-4)-(9)-①)</li> </ol>
10 月 20 日	菊池憲一郎	ユニット6：組織の構造と機能（5） -神経組織，泌尿器系-	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 神経組織を構成する細胞の特徴について述べる。 (C-3-4)-(5)-②, ③, ⑦, ⑨)</li> <li>2) 泌尿器系に属する器官の基本構造について述べる。 (C-3-4)-(10)-①)</li> </ol>

# 総合基礎歯学〔病理学〕

火曜日 9:00~10:30

## 本学期的学習目標 (GIO)

口腔病態病理学の理解に不可欠な病理組織像の読解力を身につけるために、病理学で必要な用語と疾患概念を再度整理する。また、講義と並行してWeb教材の活用により学習目標を達成する。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
槻木恵一, 岡田康男 編	新スタンダード口腔病理学	第1版	学建書院
下野正基, 高田 隆 編	新口腔病理学	第3版	医歯薬出版
日本歯科大学病理学講座 編 (添野雄一監修)	ポイントレビュー 病理学・口腔病理学	第1版	キタ・メディア出版
井上 孝, 岡田康男, 長谷川博雅, 前田初彦 編	病理学総論にもとづく口腔病理学	第3版	永末書店
日本歯科大学病理学講座 編 (青葉孝昭監修)	歯学生のための最新・病態病理学入門 (冊子版)	第1版	キタ・メディア出版
日本歯科大学病理学講座 編 (青葉孝昭監修)	歯学生のための最新・病態病理学入門 (epub版)	第1版	杏林舎
日本歯科大学病理学講座 編 (青葉孝昭監修)	講義ノート 歯と歯周組織の病理学 (epub版)	第1版	杏林舎

## 担当者一覧

佐藤かおり

## 学習方略

講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [100%]     論述試験 [--%]     口頭試験 [--%]     レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]     シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [--%]     観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]     その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 毎週 火曜日 17:30~18:30  
 場所: 本館6階 病理学研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
9月16日	佐藤かおり	ユニット1: 病理組織所見と疾患概念 (1) 循環障害と代謝障害	1) 虚血, 充血, うっ血を説明する。(C-5-4)-①) 2) 血栓, 塞栓の形成機序と梗塞を説明する。(C-5-4)-③) 3) 浮腫の原因を説明する。(C-5-4)-⑤) 4) 変性と関連疾患を説明する。(C-5-2)-②)
9月22日	佐藤かおり *月曜日5限	ユニット2: 病理組織所見と疾患概念 (2) 組織の損傷と炎症反応	1) 肉芽組織の構成要素を列記する。(C-5-3)-④) 2) 異物処理を列記する。(C-5-3)-⑤) 3) 炎症に寄与する細胞を列記する。(C-5-5)-②) 4) 炎症の過程を説明する。(C-5-5)-①) 5) 結核結節を説明する。(C-5-5)-④)
9月30日	佐藤かおり	ユニット3: 病理組織所見と疾患概念 (3) 口腔粘膜の病変と腫瘍	1) 口腔粘膜の病変を分類する。(E-2-4)-(4)-①) 2) 白色病変における上皮変化を説明する。(E-2-4)-(4)-②) 3) 細胞異型を説明する。(C-5-6)-④) 4) 良性腫瘍と悪性腫瘍を比較する。(C-5-6)-⑤) 5) 上皮性腫瘍と非上皮性腫瘍を比較する。(C-5-6)-④)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SBOs）
10月7日	佐藤かおり	ユニット4：病理組織所見と疾患概念 (4) 歯原性腫瘍	1) 歯冠・歯根の形成過程と上皮間葉間の相互作用を説明する。(E-3-1)-①) 2) 歯原性腫瘍の組織学的特徴を説明する。(E-2-4)-(6)-①)
10月14日	佐藤かおり	ユニット5：病理組織所見と疾患概念 (5) 唾液腺の病変	1) 唾液腺腫瘍を分類する。(E-2-4)-(8)-④) 2) 唾液腺炎を分類する。(E-2-4)-(8)-③) 3) 唾液腺腫大を主徴とする病変を判別する。(E-2-4)-(8)-⑦)
10月21日	佐藤かおり	ユニット6：病理組織所見と疾患概念 (6) 口腔領域の嚢胞	1) 嚢胞壁の構造を説明する。(E-2-4)-(5)-①) 2) 発育性嚢胞と炎症性嚢胞を分類する。(E-2-4)-(5)-①) 3) 粘液貯留嚢胞の成り立ちを説明する。(E-2-4)-(5)-①) 4) 嚢胞を診断する。(E-2-4)-(5)-①)

# 総合基礎歯学（生化学）

火曜日 9:00~10:30

## 本学期的学習目標 (G10)

歯科医学・医療の基礎を生化学的・分子生物学的基盤に立脚して理解するために、生体を構成する分子の生化学的な特徴と機能について考察する。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
P. C. Champ他 著, 石崎泰樹 他 訳	イラストレイテッド生化学	第8版	丸善
早川太郎 他	口腔生化学	第6版	医歯薬出版

## 担当者一覧

今井一志, 美原希美, 千葉忠成, 根岸 翼

## 学習方略

- 講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験 [100%]     論述試験 [--%]     口頭試験 [--%]     レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]     シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [--%]     観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]     その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 毎週月曜日 17:00~18:00

場所: 本館6階 生化学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
10月28日	千葉 忠成	ユニット1: 糖質・脂質・タンパク質の代謝と疾患	1) 糖質の代謝経路を説明する。(C-2-1)-① 2) 脂質の代謝経路を説明する。(C-2-1)-⑤ 3) タンパク質の代謝経路を説明する。(C-2-1)-⑤
11月4日	千葉 忠成	ユニット2: ビタミンの種類・機能・欠乏症	1) ビタミンを分類する。(E-2-4)-⑨ 2) ビタミンの化学構造と機能を記述する。(E-2-4)-⑨ 3) ビタミンの欠乏症を説明する。(E-2-4)-⑨ 4) ビタミンの栄養学的機能を説明する。(E-2-4)-⑨
11月11日	美原 希美	ユニット3: 遺伝子	1) 核酸の基本構造を記述する。(C-2-2)-① 2) DNAの複製を説明する。(C-2-2)-② 3) 遺伝子転写制御機構の基本メカニズムを説明する。(C-2-2)-③ 4) mRNAのプロセッシングと構造を説明する。(C-2-2)-③ 5) タンパク質の翻訳機構を説明する。(C-2-2)-③
11月18日	美原 希美	ユニット4: 細胞外マトリックスと歯の化学的組成	1) ECMタンパク質の種類を列記する。(C-2-4)-③ 2) コラーゲンの構造と合成機構を記述する。(C-2-4)-③ 3) 糖タンパク質とプロテオグリカンの特徴を述べる。(C-2-4)-③ 4) 硬組織の無機・有機成分の種類と特徴を説明する。(C-2-4)-③ 5) 歯と歯周組織のECMタンパク質を列記する。(C-2-4)-③ 6) 幼若複エナメル質の成熟過程を説明する。(C-2-4)-③

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
11 月 25 日	根岸 翼	ユニット5：唾液の成分と機能	1) 唾液成分の種類を述べる。(E-2-2)-⑤) 2) 唾液成分の特徴と機能を説明する。(E-2-2)-⑤) 3) 唾液の抗菌因子を列記する。(E-2-2)-⑤)
12 月 2 日	根岸 翼	ユニット6：カルシウム代謝と骨吸収	1) 血清カルシウム濃度の調整機構を記述する。 (C-3-4)-①) 2) 血清カルシウム調節ホルモンを記述する。 (C-3-4)-(9)-①) 3) 破骨細胞による骨吸収のメカニズムを説明する。 (C-3-4)-(2)-④)



授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
11 月 25 日	佐伯 周子	ユニット5：ガス交換と呼吸調節	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 呼吸の概念を説明する。(C-3-4)-(8)-②)</li> <li>2) 肺の形態と機能を具体的に述べる。 (C-3-4)-(8)-②)</li> <li>3) 肺におけるガス交換を説明する。(C-3-4)-(8)-②)</li> <li>4) 呼吸調節機構を具体的に列挙する。 (C-3-4)-(9)-②)</li> </ul>
12 月 2 日	井出 良治	ユニット6：顎・口腔・顔面の機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 口腔内の感覚受容器と神経線維の特徴を述べる。 (E-2-1)-⑤), (E-2-2)-⑨)</li> <li>2) 粘膜に分布する感覚受容器を説明する。 (C-3-4)-(6)-②)</li> <li>3) 顎・口腔・顔面領域に生じる疼痛の発生機序および制御機構を説明する。 (C-3-4)-(6)-④), (E-2-4)-(9)-①)</li> <li>4) 反射や姿勢維持における骨格筋の役割について説明する。(E-2-1)-⑦)</li> <li>5) 顎運動と咀嚼筋の関連について述べる。 (E-2-1)-③), ⑥)</li> <li>6) 咀嚼運動の神経機構について説明する。 (E-2-1)-⑧)</li> </ul>

# 総合基礎歯学〔薬理学〕

火曜日 10:40~12:10

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯科医師として求められる薬理学的基盤を総合的に理解するために、薬理学総論ならびに歯科臨床における薬物療法の概念とその応用および実際面について再度知識を整理し修得する。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
筒井健夫 著	歯科薬物療法学	第8版	一世出版
Richard A. Harvey, 他著, 柳澤輝行, 他訳	イラストレイテッド薬理学	第6版	丸善出版
戸苅彰史, 他編	現代歯科薬理学	第7版	医歯薬出版

## 担当者一覧

筒井健夫, 神 唯, 鳥居大祐, 伊藤亜希

## 学習方略

- 講義   
  示説 (デモンストレーション)   
  グループワーク (PBL, TBLを含む)   
  実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験 [100%]   
  論述試験 [--%]   
  口頭試験 [--%]   
  レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]   
  シミュレーションテスト [--%]   
  実地試験 [--%]   
  観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]   
 その他

## オフィスアワー

日時: 毎週水曜日 16:30~17:30

場所: 本館5階 薬理学研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
9月16日	神 唯	ユニット1: 薬物療法の種類, 薬理作用と医薬品, 薬物の作用機序	1) 薬物療法 (原因療法, 対症療法) を述べる。(歯科臨床において適用される薬物の特徴を含む) (C-6-2)-①) 2) 薬理作用の基本形式および薬理作用を規定する用量と反応の関係について説明する。(C-6-2)-②, ③) 3) 医薬品医療機器等法と日本薬局方を説明する。(C-6-1)-③) 4) 医薬品の分類, 毒薬, 劇薬および麻薬等の表示と保管を説明する。(C-6-1)-①, ②) 5) 受容体を介する薬理作用と受容体の作動薬, 拮抗薬の作用様式を説明する。(C-6-2)-①, ②) 6) 自律神経系の機能および神経伝達物質による薬理作用について説明する。(C-6-2)-②, (C-3-4)-(5)) 7) 受容体を介さない薬理作用, 作用機序を説明する。(C-6-2)-②) 8) 喫煙の依存性と身体にもたらす影響について述べる。(C-6-2)-②, ④)
9月24日	神 唯 *水曜日5限	ユニット2: 薬物体内動態	1) 薬物動態における吸収, 分布について説明する。(C-6-3)-②) 2) 薬物動態における代謝, 排泄について説明する。(C-6-3)-②)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SBOs）
9月30日	鳥居 大祐	ユニット3：薬物の相互作用、副作用と有害作用	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 薬物の相互作用について説明する。(C-6-2)-⑤)</li> <li>2) 薬物の連用による薬物耐性、蓄積、薬物依存について説明する。(C-6-2)-④)</li> <li>3) 薬効に影響を及ぼす因子を説明する。(C-6-2)-③, ④, ⑤)</li> <li>4) 薬物の副作用、有害作用およびその予防対策を説明する。(C-6-4)-①)</li> </ol>
10月7日	鳥居 大祐	ユニット4：薬物の適用方法と適用上の注意	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 薬物の適応方法の種類とその特徴を説明する。(C-6-3)-①)</li> <li>2) 妊婦、小児、高齢者への薬物適用上の注意点を述べる。(C-6-3)-②)</li> <li>3) 全身疾患を有する患者への薬物適用上の注意点を述べる。(C-6-3)-②), (E-6-①, ②)</li> </ol>
10月14日	鳥居 大祐	ユニット5：抗炎症薬と感染症治療薬概論	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 抗炎症薬の薬理作用、作用機序を説明する。(C-6-2)-①, ②), (C-5-5)-①, ②)</li> <li>2) 抗炎症薬の適応症と副作用を説明する。(C-6-2)-①, ②), (C-5-5)-①, ②)</li> <li>3) 感染症治療薬の薬理作用、作用機序を説明する。(C-6-2)-①, ②), (C-4-1))</li> <li>4) PK/PD理論に基づいた感染症治療薬の適正使用を説明する。(C-6-2)-①, ②, ③), (C-4-1))</li> </ol>
10月21日	伊藤 亜紀 筒井 健夫	ユニット6：漢方薬	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 漢方医学の概要について説明する。(C-6-2)-①, ②)</li> <li>2) 口腔領域における生薬、漢方薬の応用について述べる。(C-6-2)-①, ②), (C-6-4)-①)</li> </ol>

# 統合臨床基礎学実習

火曜日 13:10~17:15

## 本学期的学習目標 (GIO)

第5学年での附属病院における臨床参加型実習において附属病院各科診療室で患者と円滑に接するために、各基礎実習で履修した知識と技能を整理し、臨床実習生として必要な技能・態度を修得する。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
	なし (各分野で配付資料あり)		

## 担当者一覧

前田宗宏, 横澤 茂, 五味治徳, 柵木寿男, 里見貴史, 篠原健一郎, 岩田 洋, 梅津糸由子, 鈴木章弘, 内藤 明  
 【医療面接】大津光寛, 井出吉昭, 大澤銀子, 北村和夫, 仲谷 寛, 西田太郎, 前野雅彦, 石川結子, 石田鉄光, 代田あづさ, 滑川初枝, 光安廣記, 内田裕子, 安田麻子, 窪田大祐, 川本沙也華, 根岸 翼, 土持 宇, 岡田智雄  
 【補綴】新谷明一, 八田みのり, 渡邊 慧, 横山正起, 上杉華子, 小見野真梨恵, 秋山仁志, 石川結子  
 【歯内】西田太郎, 北村和夫, 関谷美貴, 三枝慶祐, 杉田浩一, 濱田康弘, 山崎孝子, 小柳圭史, 中山竣太郎, 小林 鷹, 梶原瑞貴, 村山文康  
 【修復】小川信太郎, 河本 芽, 越田清祐, 河合貴俊, 代田あづさ, 杉山怜央, 中原由絵, 滑川初枝, 新田俊彦, 林 孝太郎, 原 学, 前野雅彦, 光安廣記, 村田卓也  
 【口腔外科】松野智宣, 宮坂孝弘, 澁井武夫, 岡村武志, 田中惇平, 稲田 諒, 小柳昌央  
 【救命救急】安田麻子, 小谷田貴之, 我妻由梨, 村松健司, 亀岡 亮, 小柳圭史, 筒井友花子, 酒井有沙, 今井智明, 阿部恵一, 小林清佳, 黒岩 聖, 大野泰子, 清原歩実, 石井通勇, 篠原健一郎, 井坂栄作  
 【放射線】浅海利恵子, 神尾 崇, 河合泰輔, 齋藤圭輔, 永浦まどか, 林 宗廣  
 【臨床(小児)】村松健司, 新見嘉邦, 亀岡 亮, 芦澤みなみ, 西村 歩, 出口 崇, 宇佐見智里, 伊藤春子, 河野 南, 千 瑛美  
 【臨床(技工)】齋藤勝紀, 竹井 潤, 岩田健悟, 山澤武司, 中村美保, 飯島孝守, 芝崎雅一  
 (順不同) 他各分野インストラクター

## 学習方略

講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [--%]       論述試験 [--%]       口頭試験 [--%]       レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [20%]       観察記録 [80%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 各分野実習終了後から15分間  
 場所: 本館7F 臨床実習室各分野担当者

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
9月16日	横澤 茂	ユニット1: 医療面接技法 (1)	1) コミュニケーションの意義, 目的と技法を説明する。(A-4-1)-①) 2) コミュニケーションを通じて良好な人間関係を構築する。(A-4-1)-②) 3) 医療面接における基本的なコミュニケーションを模擬的に実施する。(A-4-1)-③)
9月30日	横澤 茂	ユニット2: 医療面接技法 (2) 医療面接のロールプレー	1) 医療面接を模擬的に実施する。(A-4-1)-③) 2) 患者のプライバシーに配慮する。(A-4-2)-⑥) 3) 患者の苦痛に配慮する。(A-4-2)-①) 4) 医療面接を適切な手順で実施する。(A-4-1)-③) 5) 患者の立場を模擬的に体験する。(A-4-1)-③) 6) 適切な態度で患者に接する。(F-2-1)-①) 7) 患者の病歴を聴取できる。(F-2-1)-③) 8) 患者の背景に配慮しながら問題点を整理する。(F-2-1)-④) 9) 医療面接を評価する。(F-2-1)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月7日	五味 治徳	ユニット3：欠損補綴の治療方針の説明・概形印象採得	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 欠損補綴の治療方針について説明する。(F-3-4)-①</li> <li>2) 概形印象採得を適切に実施する。(F-3-1)-⑤</li> <li>3) トレーの選択を実施する。(F-3-1)-⑤</li> <li>4) 操作時の注意事項を説明する。(F-3-1)-⑤</li> </ol>
10月14日	前田 宗宏	ユニット4：歯内療法におけるラバーダム防湿法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) ラバーダム防湿法を実施する。(F-3-1)-③</li> <li>2) 清潔に配慮した操作を実践する。(F-1-2)-②</li> <li>3) 安全に配慮した器具操作を実施する。(F-1-2)-③</li> </ol>
10月21日	柵木 寿男	ユニット5：口腔内状態の記録・齶蝕罹患歯質の除去とコンポジットレジン修復	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 視診によって患者の現症を的確に捉える。(F-1-1)-①</li> <li>2) 得られた所見を適切に診療録に記載する。(F-2-2)-⑫</li> <li>3) 患者に配慮した器具の操作をする。(F-3-3)-①</li> <li>4) 齶蝕検知液を使用して感染象牙質を確認する。(F-3-3)-①</li> <li>5) レストにより安定した状態で齶蝕罹患歯質を除去する。(F-3-3)-①</li> <li>6) 歯髄の保護に配慮して切削する。(F-3-3)-①</li> <li>7) コンポジットレジン修復を実施する。(F-3-3)-①</li> </ol>
10月28日	里見 貴史	ユニット6：頭頸部の診察と手洗い・滅菌グローブ装着	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 顔面の変化・顎の開閉口路を視診する。(F-2-2)-③</li> <li>2) 頭頸部の筋肉・顎関節部・顎下リンパ節を触診する。(F-2-2)-③</li> <li>3) 患者の痛みや不快感に配慮しながら診察する。(F-2-2)-③</li> <li>4) 清潔域・不潔域に配慮しながら順序よく手洗い操作をする。(F-3-1)-①</li> <li>5) 順序よく擦式消毒ができる。(F-3-1)-①</li> <li>6) 無菌的にグローブを装着する。(F-3-1)-①</li> </ol>
11月4日	篠原健一郎	ユニット7：心肺蘇生	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 一次救命処置を説明する。(E-1-4)-(1)-①</li> <li>2) 心肺蘇生の適応を説明する。</li> <li>3) 胸骨圧迫を実施する。</li> <li>4) 気道を確保し、人工呼吸を実施する。(E-1-6)-①</li> <li>5) 自動体外式除細動器を操作する。</li> <li>6) 安全性に配慮した操作をする。(F-1-2)-⑤</li> </ol>
11月11日	岩田 洋	ユニット8：口内法エックス線撮影・口内法エックス線画像上の解剖指標の理解	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 撮影用ファントムを使用して口内法エックス線撮影を実施する。</li> <li>2) 口内法エックス線画像上の解剖指標を列挙する。(E-1-2)-⑦</li> </ol>
11月18日	梅津糸由子	ユニット9：臨床参加型実習のためのトレーニング(1)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 小児の口腔内の状態を診察する。(E-4-2)-①</li> <li>2) 口腔内の状態を診療録に記載する。(F-2-2)-⑫</li> <li>3) 小児歯科におけるエックス線画像の役割について説明する。(F-2-2)-⑤</li> <li>4) 小児のパノラマエックス線画像を読影する。(F-2-2)-⑥</li> </ol>
11月25日	内藤 明	ユニット10：臨床参加型実習のためのトレーニング(3)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) プロビジョナルレストレーションの意義と製法を説明する。(E-3-4)-(1)-⑦</li> <li>2) プロビジョナルレストレーション製作を実施する。(F-3-4)-⑤</li> </ol>
12月2日	前田 宗宏	ユニット11：実習試験	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 修得した技能を確認する。</li> <li>2) 修得した知識を確認する。</li> <li>3) 本実習の修得度を確認する。</li> </ol>

# 歯周病学実習

※実務経験のある教員等による授業科目

水曜日 9:00~12:10

## 本学期的学習目標 (GIO)

講義で学んだ理論を踏まえ、歯周病学の臨床における基本的術式を理解するために、必要な基礎的臨床技能および態度を修得する。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
沼部幸博, 齋藤 淳, 梅田 誠, 山本松男, 岩田隆紀 編	ザ・ペリオドントロジー	第4版	永末書店
沼部幸博 編	歯周病学サイドリーダー	第6版	学建書院

## 担当者一覧

沼部幸博, 伊藤 弘, 関野 愉, 村樫悦子, 五十嵐寛子, 倉治竜太郎, 林 英昭, 沼部真理子, 伊藤明子, 川村浩樹, 大崎忠夫, 清信浩一, 濱田 亮, 高橋亮一, 藤田佑三, 大久保美佐, 石井マイケル大宜, 上原 直, 和田祐季, 三代紗季, 宮下幸大, 山崎 桂, 仲谷 寛, 小川智久, 鈴木麻美, 大澤銀子, 加藤智崇, 角田憲祐, 小玉美也子, 齋藤敦史, 横山知美, 美濃直輝, 山本陸矢, 阪 奈津子, 杉山祐太, 岩崎直弥, 岡部俊秀, 我妻瑞穂, 井上修輔, 大塚 源, 小沼 晃, 金森行泰, 國分貴子, 齊藤文重, 齊藤洋一, 眞下絢香, 亘理 瑛, 吉田 聡, 石黒一美

## 学習方略

講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [10%]       論述試験 [--%]       口頭試験 [--%]       レポート [10%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [80%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 水曜日 17:00~18:00  
 場所: 100周年記念館5階 歯周病学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
9月17日	伊藤 弘	ユニット1: 歯周組織検査 (1)	1) 歯周組織検査について説明する。(F-1-1)-②) 2) 歯周組織検査を列記する。(F-1-1)-②) 3) 歯周組織検査を実施する。(F-2-2)-④) 4) 歯周組織検査に用いる器具を選択する。(F-2-2)-④) 5) 歯周組織の状態を記録用紙に記載する。(F-2-2)-④) 6) 患者に不快感を与えないよう配慮する。(F-1-2)-①)
9月24日	伊藤 弘	ユニット2: 歯周組織検査 (2)	1) 歯周組織検査について説明する。(F-1-1)-②) 2) 歯周組織検査を実施する。(F-2-2)-④) 3) プロービングを実施する。(F-2-2)-④) 4) プロービングに用いる器具を選択する。(F-2-2)-④) 5) プロービングの結果を記録用紙に記載する。(F-2-2)-④) 6) エックス線画像を読影し診断する。(F-2-2)-⑤) 7) 患者に不快感を与えないよう配慮する。(F-1-2)-①)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月1日	伊藤 弘	ユニット3：歯周基本治療（1）	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 歯周病の病状をわかりやすく伝える。(F-1-1)-②)</li> <li>2) プラークコントロールの方法を説明する。(F-3-3)-④)</li> <li>3) プラークコントロールの方法を列記する。(F-3-3)-④)</li> <li>4) プラークコントロールの方法を習得する。(F-3-3)-④)</li> <li>5) 口腔清掃状況を評価する。(F-2-2)-④)</li> <li>6) 口腔清掃を実施する。(F-3-3)-④)</li> <li>7) 平易な言葉で口腔清掃指導を実施する。(F-3-3)-④)</li> <li>8) 患者に不快感を与えないよう配慮する。(F-1-2)-①)</li> </ul>
10月8日	村樫 悦子 *1～3限	ユニット4：歯周基本治療（2）	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) スケーリング・ルートプレーニングの目的を説明する。(E-3-3-(3)-③)</li> <li>2) スケーラーの特徴を説明する。(E-3-3-(3)-③)</li> <li>3) 前歯部, 上顎左側臼歯部のスケーリング・ルートプレーニングに用いる適切な器具を選択する。(E-3-3-(3)-③, F-3-1)-②, F-3-3)-⑤)</li> <li>4) スケーリング・ルートプレーニングの模型実習を実施する。(E-3-3-(3)-③, F-1-2)-①, ②, F-3-3)-⑤)</li> <li>5) 患者に不快感を与えないよう配慮する。(A-4-2)-①, ②, F-1-2)-①, ②)</li> </ul>
10月15日	五十嵐寛子 *1～3限	ユニット5：歯周基本治療（3）	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) スケーラーの特徴を説明する。(F-3-3)-⑤)</li> <li>2) 下顎左側臼歯部, 右側臼歯部のスケーリング・ルートプレーニングを実施する。(F-3-3)-⑤)</li> <li>3) 患者を想定してスケーリング・ルートプレーニングについて説明する。(F-3-3)-⑤)</li> <li>4) 歯面研磨を実施する。(F-3-3)-⑤)</li> <li>5) 患者に不快感を与えないよう配慮する。(F-3-3)-⑤)</li> </ul>
10月22日	五十嵐寛子	ユニット6：歯周基本治療（4）	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) スケーラーの特徴を説明する。(F-3-3)-⑤)</li> <li>2) 適切なシャープニングを実施する。(E-3-3-(3)-③, F-3-3)-⑤)</li> <li>3) グレーシーキュレットの刃部の形態を説明する。(E-3-3-(3)-③, F-3-3)-⑤)</li> <li>4) 暫間固定を実施する。(E-3-3-(3)-③, F-3-3)-⑥)</li> <li>5) 電動ブラシの使用法を説明する。(E-3-3-(3)-②, F-3-2)-③, F-3-3)-④)</li> <li>6) 患者に不快感を与えないよう配慮する。(F-3-3)-⑤)</li> </ul>
10月29日	五十嵐寛子	ユニット7：歯周外科治療（1）	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 歯周外科手術の意義を説明する。(E-3-3-(3)-①)</li> <li>2) フラップ手術の縫合を実施する。(E-3-3-(3)-③)</li> <li>3) フラップ手術を実施する。(E-3-3-(3)-③)</li> <li>4) 患者を想定してフラップ手術について説明する。(E-3-3-(3)-①)</li> <li>5) 患者に不快感を与えないよう配慮する。(F-1-①～③)</li> </ul>

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SBOs）
11月5日	村樫 悦子	ユニット8：歯周外科治療（2）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 根分岐部病変に対する処置について説明する。(E-3-3-(3)-①)</li> <li>2) 根分岐部病変に対する処置を列記する。(E-3-3-(3)-①)</li> <li>3) ヘミセクションを実施する。(E-3-3-(3)-③)</li> <li>4) 患者を想定してヘミセクションについて説明する。(E-3-3-(3)-①)</li> <li>5) 患者に不快感を与えないよう配慮する。(F-1-①～③)</li> </ol>
11月12日	倉治竜太郎	ユニット9：歯周外科治療（3）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 歯肉切除術を実施する。(E-3-3-(3)-③)</li> <li>2) 患者を想定して歯肉切除術について説明する。(E-3-3-(3)-①)</li> <li>3) 歯肉切除術に用いる器具を選択する。(E-3-3-(3)-①)</li> <li>4) 歯周パックを実施する。(E-3-3)-④)</li> <li>5) FGF-2製剤を用いた歯周組織再生療法を実施する。(E-3-3-(3)-③～④)</li> <li>6) FGF-2製剤を用いた歯周組織再生療法の術式を述べる。(E-3-3-(3)-③～④)</li> <li>7) 患者を想定してFGF-2製剤を用いた歯周組織再生療法について説明する。(E-3-3-(3)-①)</li> <li>8) FGF-2製剤を用いた歯周組織再生療法に用いる器具を選択する。(E-3-3-(3)-①)</li> <li>9) 患者に不快感を与えないよう配慮する。(F-1-①～③)</li> </ol>
11月19日	倉治竜太郎	ユニット10：歯周外科治療（4）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) GTR法を実施する。(E-3-3-(3)-③～④)</li> <li>2) GTR法の術式を述べる。(E-3-3-(3)-③～④)</li> <li>3) 患者を想定してGTR法について説明する。(E-3-3-(3)-①)</li> <li>4) GTR法に用いる器具を選択する。(E-3-3-(3)-①)</li> <li>5) 患者に不快感を与えないよう配慮する。(F-1-①～③)</li> </ol>
11月26日	関野 愉	ユニット11：病状説明と口腔衛生指導	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 患者の口腔内，エックス線画像，歯周組織検査結果から病態を把握する。(E-3-3-(3)-②，F-1-1)-①，②)</li> <li>2) 患者が理解しやすいように病状と検査結果を説明する。(A-4-2)-①，②，E-3-3-(3)-②，F-2-1)-⑦)</li> <li>3) 口腔清掃状態をチャートから把握する。(E-3-3-(3)-②，F-3-2)-①，②)</li> <li>4) 適切な口腔清掃指導を実施する。(E-3-3-(3)-②，F-3-2)-③，F-3-3)-④)</li> <li>5) 病態説明や適切な口腔清掃指導を行えているか互いに評価する。(F-3-2)-①，③)</li> </ol>
12月3日	沼部 幸博	ユニット12：スケーリング・ルートプレーニングの説明と実践	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 適切な患者への説明を実施する。(E-3-3-(3)-③，F-3-3)-⑤)</li> <li>2) 適切な器具を選択する。(E-3-3-(3)-③，F-1-2)-①，F-3-3)-⑤)</li> <li>3) 超音波スケーラーの使用法を説明する。(E-3-3-(3)-③，F-3-3)-⑤)</li> <li>4) 超音波スケーラーの使用法を習得する。(E-3-3-(3)-③，F-3-3)-⑤)</li> <li>5) 患者に不快感を与えないように配慮する。(F-1-①～③)</li> </ol>



# 歯周病学

※実務経験のある教員等による授業科目

水曜日 13:10~14:40

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯周病学における全体像（各論）を理解するために、関連の知識を修得し、その要諦と基本事項を学習しながら、臨床に必要な基本術式の知識を身につける。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
沼部幸博, 齋藤 淳, 梅田 誠, 山本松男, 岩田隆紀 編	ザ・ペリオドントロジー	第4版	永末書店
沼部幸博 編	歯周病学サイドリーダー	第6版	学建書院

## 担当者一覧

沼部幸博, 佐藤 聡, 伊藤 弘, 関野 愉, 村樫悦子, 五十嵐寛子, 倉治竜太郎

## 学習方略

講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [50%]     論述試験 [30%]     口頭試験 [--%]     レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]     シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [--%]     観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]     その他 ( 中間試験 [20%] )

## オフィスアワー

日時: 水曜日 17:00~18:00

場所: 100周年記念館5階 歯周病学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
9月17日	佐藤 聡	ユニット1: 歯周外科治療の実際	1) 問題文の情報, 口腔内写真, エックス線写真, 歯周組織検査結果の情報から病態を説明する。(E-3-3)-(3)-①) 2) 病態の違いにより適応となる歯周外科治療の方法が選択できる。(E-3-3)-(3)-②) 3) 選択した歯周外科治療の目的, 術式を述べるができる。(E-3-3)-(3)-③)
9月17日	村樫 悦子 * 4限	ユニット2: 歯周治療におけるレーザーの応用	1) レーザーの発振原理, 特性および生体組織への影響を説明する。(D-1-①) 2) 各種レーザー機器の分類とその特徴を説明する。(D-1-①) 3) 各種レーザー機器を応用した歯周治療を理解する。(E-3-3)-(3)-②, ③)
9月24日	沼部 幸博	ユニット3: ペリオドンタルメディシン (1)	1) 歯周病が影響を及ぼす全身疾患について列記する。(E-3-3)-(3)-①) 2) 歯周病が全身に影響を与える理由について説明する。(E-3-3)-(3)-①) 3) 心血管疾患との関連について説明する。(E-3-3)-(3)-①) 4) 糖尿病との関連について説明する。(E-3-3)-(3)-①)
10月1日	沼部 幸博	ユニット4: ペリオドンタルメディシン (2)	1) 呼吸器疾患について説明する。(E-3-3)-(3)-①) 2) 早産, 低体重児出産との関連について説明する。(E-3-3)-(3)-①) 3) 関節リウマチとの関連について説明する。(E-3-3)-(3)-①) 4) メタボリックシンドロームとの関連を説明する。(E-3-3)-(3)-①)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月8日	伊藤 弘 * 4限	ユニット5：特殊な歯周病（1）	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 特殊な歯周病について説明する。 (E-3-3)-(3)-①), (E-3-2)-(3)</li> <li>2) 特殊な歯周病を列記する。(E-3-3)-(3)-①)</li> <li>3) 特殊な歯周病の特徴を述べる。(E-3-3)-(3)-①)</li> </ul>
10月15日	伊藤 弘 * 4限	ユニット6：特殊な歯周病（2）	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 壊死性潰瘍性歯肉炎・歯周炎について説明する。 (E-3-3)-(3)-①)</li> <li>2) 疱疹性歯肉口内炎について説明する。 (E-3-3)-(3)-①)</li> <li>3) 剥離性歯肉炎について説明する。(E-3-3)-(3)-①)</li> <li>4) 歯肉線維腫症について説明する。(E-3-3)-(3)-①)</li> <li>5) 薬物性歯肉増殖症について説明する。 (E-3-3)-(3)-①)</li> <li>6) Down症候群と歯周炎について説明する。 (E-3-3)-(3)-①)</li> <li>7) 低ホスファターゼ症と歯周炎について説明する。 (E-3-3)-(3)-①)</li> <li>8) Papillon-Lefèvre症候群と歯周炎について説明する。 (E-3-3)-(3)-①)</li> </ul>
10月22日	倉治竜太郎	ユニット7：歯周組織の突発病変への対応・歯周治療における薬物療法	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 突発的な歯の動揺について説明する。 (E-3-3)-(3)-①, ②)</li> <li>2) 歯の挺出について説明する。(E-3-3)-(3)-①, ②)</li> <li>3) 歯肉の急激な腫脹・膿瘍形成を説明する。 (E-3-3)-(3)-①)</li> <li>4) 歯肉の異常増殖について説明する。 (E-3-3)-(3)-①, ②)</li> <li>5) 歯周組織の急性および慢性疼痛を説明する。 (E-3-3)-(3)-①, ②)</li> <li>6) 歯周治療後のポケット再発について説明する。 (E-3-3)-(3)-①, ②)</li> <li>7) その他の突発的な歯周組織の変化を説明する。 (E-3-3)-(3)-①, ②)</li> <li>8) 薬物療法の概念を説明する。(E-3-3)-(3)-③)</li> <li>9) 歯周治療に用いる局所および全身投与製剤を説明する。(E-3-3)-(3)-③)</li> </ul>
10月29日	五十嵐寛子	ユニット8：ライフステージを通じた歯周治療	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 小児の歯周病の特徴を説明する。(E-4-2-⑥)</li> <li>2) 思春期の歯周病の特徴を説明する。 (E-3-3)-(3)-②)</li> <li>3) 妊娠と関連して発現する歯周病の特徴を説明する。 (E-3-3)-(3)-②)</li> <li>4) 高齢者の歯周病の特徴を説明する。 (E-3-3)-(3)-②)</li> <li>5) 各ライフステージにおける、歯周治療の留意点を説明する。(B-3-2)-④)</li> </ul>
11月5日	五十嵐寛子	ユニット9：歯周病の予防管理・多職種連携 当日中間試験予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 歯周病の予防法を具体的に説明する。(B-3-2)-①)</li> <li>2) ホームケア、プロフェッショナルケアについて説明する。(B-3-1)-②)</li> <li>3) 一次、二次、三次予防について説明する。 (B-3-1)-①)</li> <li>4) それぞれの職種が対象者と関わる内容を説明する。(B-3-2)-④)</li> </ul>
11月12日	関野 愉	ユニット10：インプラント周囲炎	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) インプラント周囲粘膜炎について説明する。 (E-3-4)-(3)-②)</li> <li>2) インプラント周囲炎について説明する。 (E-3-4)-(3)-②)</li> <li>3) インプラント周囲粘膜炎・周囲炎の治療法を列記する。(E-3-4)-(3)-⑧)</li> </ul>

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SBOs）
11 月 19 日	倉治竜太郎	ユニット11：臨実演習・診査診断	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 歯周病の分類と臨床所見を説明する。(E-3-2)-③)</li> <li>2) 歯周病のリスクファクターを列記し，歯周病が多因子性疾患であることを説明する。(E-3-2)-③)</li> <li>3) 特殊な歯周病の原因と臨床症状，治療方針を説明する。(E-3-2)-③)</li> <li>4) 歯周病の検査から得られる情報を整理・統合し，適切な診断を行うプロセスを学習する。(E-3-3-(3)-②)</li> </ol>
11 月 26 日	五十嵐寛子	ユニット12：臨実演習・歯周基本治療	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 歯周基本治療の目的を説明する。(E-3-3)-②)</li> <li>2) 歯周基本治療の検査項目を述べる。(E-3-3)-②)</li> <li>3) 歯周基本治療の手順，方法について述べる。(E-3-3)-③)</li> </ol>
12 月 3 日	関野 愉	ユニット13：臨実演習・歯周外科治療	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 問題文から歯周組織の状態を把握するために必要な情報を抜粋する。(E-3-3-(3)-②)</li> <li>2) 口腔内写真から病態を説明する。(E-3-3-(3)-②)</li> <li>3) エックス線所見を説明する。(E-3-3-(3)-②)</li> <li>4) 歯周組織検査結果から得られる情報を整理する。(E-3-3-(3)-②)</li> <li>5) 問題，視覚素材から得られた情報を統合し，適切な解答を導くためのプロセスを知る。(E-3-3-(3)-②，③，④)</li> <li>6) 適切な歯周外科治療を選択する。(E-3-3-(3)-④)</li> <li>7) 歯周外科治療で用いる器具と用途を説明する。(E-3-3-(3)-④)</li> <li>8) 歯周外科治療後の組織の治癒機転と予後を説明する。(E-3-3-(3)-⑤)</li> </ol>



# 口腔インプラント学

※実務経験のある教員等による授業科目

水曜日 14:50~16:20

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯の欠損部に対する補綴法の一つであるインプラント治療を理解するために、基礎および臨床科目で修得した地識をもとにインプラントの基本的事項を修得し、臨床例を通して治療の内容を知る。

## 教科書・参考書

### 著者・編集

### 書名

### 版

### 出版社

赤川安正 他 編	よくわかる口腔インプラント学	第4版	医歯薬出版
公益社団法人日本口腔インプラント学会編	口腔インプラント学実習書	第2版	永末出版

## 担当者一覧

柳井智恵, 小倉 晋, 築瀬麻衣子, 是澤和人, 川上紗和子, 松野智宣, 秋山仁志, 井出吉昭, 佐藤 聡

## 学習方略

講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [65%]     論述試験 [35%]     口頭試験 [--%]     レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]     シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [--%]     観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]     その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 2025年9月17日~2025年12月3日までの第2, 第4水曜日 17:00~18:00

場所: 附属病院6階 口腔インプラント診療科・カンファレンス室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
9月17日	柳井 智恵 * 5限	ユニット1: インプラント学総論	1) インプラント治療の意義と特徴を述べる。(E-3-4)-(3)-①) 2) インプラントの種類を列記する。(E-3-4)-(3)-①) 3) インプラント材料の種類と特性を説明する(D-2-⑤) 4) インプラント表面性状の種類を列記する。(D-2-⑤) 5) オッセオインテグレーションについて説明する。(E-3-4)-(3)-①) 6) インプラントの基本構造を説明する。(E-3-4)-(3)-①)
9月24日	井出 吉昭	ユニット2: インプラント治療のための解剖	1) 顎骨の部位の名称を列記する。(E-2-1)②) 2) 有歯顎と無歯顎の形態学的特徴を説明する。(E-2-1)②) 3) 顎骨の内部と周囲を走行する脈管を説明する。(E-2-1)④) 4) 顎骨の内部と周囲を走行する神経を説明する。(E-2-1)⑤)
10月1日	松野 智宣	ユニット3: 骨リモデリングと骨再生	1) 抜歯後の歯槽骨の形態変化を説明する。(E-3-4)-(3)-⑤) 2) 骨のリモデリングを説明する。(E-3-4)-(3)-⑤) 3) インプラント埋入に必要な骨造成法を説明する。(E-3-4)-(3)-⑤) 4) 骨造成に用いる骨移植材を列記する。(D-2-⑤) 5) 骨補填材の特徴を比較する。(D-2-⑤)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月1日	築瀬 麻衣子 * 5限	ユニット4：診察・検査	<ol style="list-style-type: none"> <li>インプラントの治療手順を述べる。(E-3-4)-(3)-(4)</li> <li>局所および全身検査を述べる。(E-3-4)-(3)-(3)</li> <li>適応症を述べる。(E-3-4)-(3)-(2)</li> <li>禁忌症を述べる。(E-3-4)-(3)-(2)</li> <li>診断用セットアップ、診断用ステントの意義を述べる。(E-3-4)-(3)-(4)</li> <li>インプラント治療のための画像検査法を列記する。(E-3-4)-(3)-(3)</li> </ol>
10月8日	小倉 晋 * 5限	ユニット5：治療計画の立案	<ol style="list-style-type: none"> <li>インプラント補綴の設計で考慮すべき生体力学的要素を説明する。(E-3-4)-(3)-(4)</li> <li>上部構造の種類、設計、固定方法を説明する。(E-3-4)-(3)-(4)</li> <li>インプラント体の選択、埋入位置と方向決定を説明する。(E-3-4)-(3)-(4)</li> <li>デジタル技術を利用したインプラント治療のワークフローを説明する。(E-3-4)-(3)-(4)</li> <li>治療計画とインフォームドコンセントを説明する。(E-3-4)-(3)-(4)</li> <li>インプラントの成功基準を列挙する。(E-3-4)-(3)-(4)</li> <li>インプラントの治療成績を説明する。(E-3-4)-(3)-(4)</li> </ol>
10月15日	小倉 晋 * 5限	ユニット6：インプラント体埋入手術とアバットメント連結手術	<ol style="list-style-type: none"> <li>術前処置について述べる。(E-3-4)-(3)-(4)</li> <li>インプラント体埋入手術を説明する。(E-3-4)-(3)-(5)</li> <li>コンピュータ支援手術を述べる。(E-3-4)-(3)-(5)</li> <li>アバットメント連結手術を述べる。(E-3-4)-(3)-(5)</li> <li>手術後の注意事項を列挙する。(E-3-4)-(3)-(5)</li> <li>免負期間と加重時期を述べる。(E-3-4)-(3)-(5)</li> <li>手術に関連する併発症を説明する。(E-3-4)-(3)-(5)</li> </ol>
10月22日	是澤 和人	ユニット7：インプラントの印象採得と咬合採得	<ol style="list-style-type: none"> <li>上部構造の構成要素を説明する。(E-3-4)-(3)-(7)</li> <li>インプラントの印象採得法を説明する。(E-3-4)-(3)-(6)</li> <li>インプラントの咬合採得法を説明する。(E-3-4)-(3)-(6)</li> <li>作業模型の製法を説明する。(E-3-4)-(3)-(7)</li> </ol>
10月29日	川上 紗和子	ユニット8：インプラントの補綴術式	<ol style="list-style-type: none"> <li>暫間上部構造の目的を説明する。(E-3-4)-(3)-(7)</li> <li>暫間上部構造の製法を説明する。(E-3-4)-(3)-(7)</li> <li>アバットメントとインプラント体の連結機構を説明する。(E-3-4)-(3)-(7)</li> <li>アバットメントの種類を列挙する。(E-3-4)-(3)-(7)</li> </ol>
11月5日	川上 紗和子	ユニット9：上部構造の製作と装着	<ol style="list-style-type: none"> <li>上部構造の材質を列挙する。(E-3-4)-(3)-(7)</li> <li>上部構造の固定様式を説明する。(E-3-4)-(3)-(7)</li> <li>上部構造の製法を説明する。(E-3-4)-(3)-(7)</li> <li>上部構造の咬合付与を説明する。(E-3-4)-(3)-(6)</li> <li>上部構造の口腔内試適および装着時の注意点を説明する。(E-3-4)-(3)-(7)</li> </ol>

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
11月12日	秋山 仁志	ユニット10：インプラント補綴の臨床	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 1 歯欠損インプラント補綴の術式を説明する。(E-3-4)-(3)-(4)</li> <li>2) 多数歯欠損インプラント補綴の術式を説明する。(E-3-4)-(3)-(4)</li> <li>3) 無歯顎に用いられる上部構造の種類を列記する。(E-3-4)-(3)-(4)</li> <li>4) ボーンアンカーブリッジの作製法を説明する。(E-3-4)-(3)-(7)</li> <li>5) インプラント・オーバーデンチャーの作製法を説明する。(E-3-4)-(3)-(7)</li> <li>6) アタッチメントの種類を列挙する。(E-3-4)-(3)-(7)</li> </ol>
11月19日	柳井 智恵	ユニット11：インプラント治療の骨組織と軟組織のマネジメント，顎顔面インプラント治療	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 骨造成法を列記する。(E-3-4)-(3)-(5)</li> <li>2) 骨再生誘導法（GBR法）を説明する。(E-3-4)-(3)-(5)</li> <li>3) 上顎洞底挙上術を説明する。(E-3-4)-(3)-(5)</li> <li>4) 仮骨延長術を説明する。(E-3-4)-(3)-(5)</li> <li>5) スプリットクレストを説明する。(E-3-4)-(3)-(5)</li> <li>6) 周囲軟組織マネジメントの目的を説明する。(E-3-4)-(3)-(5)</li> <li>7) 周囲軟組織増大術の種類を列記する。(E-3-4)-(3)-(5)</li> <li>8) 顎顔面補綴へのインプラント応用法を説明する。(E-3-4)-(3)-(1)</li> <li>9) 手術に関連する併発症を説明する。(E-3-4)-(3)-(5)</li> </ol>
11月26日	築瀬麻衣子	ユニット12：上部構造に関連する併発症とその対応，高齢者のインプラント治療	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 上部構造に関連する併発症を列記する。(E-3-4)-(3)-(7)</li> <li>2) 各種併発症の対処法を説明する。(E-3-4)-(3)-(7)</li> <li>3) 高齢者に対するインプラント治療の利点と欠点を説明する。(E-3-4)-(3)-(3)</li> <li>4) 口腔衛生管理とメンテナンスとの重要性を述べる。(E-3-4)-(3)-(8)</li> </ol>
12月3日	佐藤 聡	ユニット13：リコールとメンテナンス	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) インプラント周囲組織について述べる。(E-3-4)-(3)-(1)</li> <li>2) 歯周病学的な診査法を説明する。(E-3-4)-(3)-(3)</li> <li>3) インプラント周囲炎を説明する。(E-3-4)-(3)-(8)</li> <li>4) 軟組織処置を説明する。(E-3-4)-(3)-(8)</li> <li>5) メンテナンスの重要性を述べる。(E-3-4)-(3)-(8)</li> <li>6) 支持療法を説明する。(E-3-4)-(3)-(8)</li> </ol>



# 障害者歯科学

木曜日 9:00~10:30

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯科医療において障害児・者へ必要な医療を行うために、障害者歯科学の基本理念、社会と健康、疾病、障害との関係や地域保健医療について理解し、発達障害者、身体障害者、精神障害者の概要と歯科治療および歯科保健管理について認識する。また、言語・摂食・嚥下障害の概要とリハビリテーションの対応や障害者の行動調整法、障害者歯科治療におけるリスク評価と安全管理を習得する。さらには、地域医療連携の重要性と、二次医療・三次医療の位置づけを認識する。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
日本障害者歯科学会 編	スペシャルニーズデンティストリー 障害者歯科	第2版	医歯薬出版
向井美恵・山田好秋 編	歯学生のための摂食・嚥下リハビリテーション学	第2版	医歯薬出版
日本障害者歯科学会 編	小児在宅歯科医療の手引き	第1版	医歯薬出版

## 担当者一覧

内川喜盛, 大島克郎, 加藤雄一, 亀岡 亮, 西脇恵子, 田村文誉, 町田麗子, 石井隆資, 山崎てるみ, 村松健司, 阿部恵一, 白瀬敏臣, 梅津糸由子

## 学習方略

講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [70%]       論述試験 [30%]       口頭試験 [--%]       レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 木曜日講義終了時に担当者へ確認  
 場所: 各担当教員研究室・医局

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
9月18日	内川 喜盛	ユニット1: 障害者歯科の概念	1) 障害を説明する。(B-1-①) 2) 国際生活機能分類 (ICF) を説明する。(B-1-①) 3) 福祉からみた障害の分類を列記する。(B-2-2)-⑤) 4) ノーマライゼーションの概念を述べる。(B-2-2)-⑦) 5) 障害者歯科の特性を説明する。(B-2-2)-⑤)
9月25日	大島 克郎	ユニット2: 障害児・者の社会保障	1) 障害児・者に関する法制度を説明する。(B-2-2)-③) 2) 障害児・者に関する社会保障制度の概要を説明する。(B-2-2)-③) 3) 障害児・者を対象とした歯科保健医療連携および関係職種について説明する。(B-2-2)-⑧)
10月2日	加藤 雄一	ユニット3: 発達障害	1) 発達障害の分類とその生物・心理・社会的特徴を説明する。(E-5-2)-①) 2) 発達障害のある者への対応法を説明する。(E-5-2)-②) 3) 発達障害のある者への歯科治療上の留意点を説明する。(E-5-2)-③)
10月9日	亀岡 亮	ユニット4: 運動・感覚障害	1) 運動障害とその原因疾患を説明する。(E-5-2)-①) 2) 感覚障害とその原因疾患を説明する。(E-5-2)-②) 3) 運動・感覚障害のある者への歯科治療上の留意点を説明する。(E-5-2)-③)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月16日	西脇 恵子	ユニット5：コミュニケーション機能の発達と障害	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) コミュニケーション機能の発達について説明する。(E-5-2)-①)</li> <li>2) 心理発達について説明する。(E-5-2)-①)</li> <li>3) 発達レベルを評価する。(E-5-2)-①)</li> <li>4) ことばの発達について説明する。(E-5-2)-①)</li> <li>5) コミュニケーション機能の障害について説明する。(E-2-4)-③)</li> </ol>
10月20日	田村 文誉 *月曜日5限	ユニット6：障害児・者の摂食機能療法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 摂食嚥下機能の評価方法を応用する。(E-5-2)-⑤)</li> <li>2) 外部観察評価に熟練する。(E-5-2)-⑤)</li> <li>3) 嚥下造影検査を評価する。(E-5-2)-⑤)</li> <li>4) 嚥下内視鏡検査を評価する。(E-5-2)-⑤)</li> <li>5) 間接訓練と直接訓練を列記する。(E-5-2)-⑤)</li> </ol>
10月23日	町田 麗子	ユニット7：発達期における摂食嚥下障害	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 摂食嚥下機能に関する解剖学的・生理学的基礎知識について、小児と成人の違いを比較する。(E-5-2)-⑥)</li> <li>2) 摂食嚥下機能の発達について述べる。(E-5-2)-⑥)</li> <li>3) 摂食嚥下障害の原因について分類する。(E-5-2)-⑥)</li> <li>4) 摂食嚥下障害の疾患別特徴と症状について説明する。(E-5-2)-⑥)</li> </ol>
10月30日	石井 隆資	ユニット8：心身相関と精神疾患	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 心と体の関連を述べる。(E-5-3)-①④⑤)</li> <li>2) うつ病の特徴を列記する。(E-6)-②)</li> <li>3) 統合失調症の特徴を列記する。(E-6)-②)</li> <li>4) 不安障害を説明する。(E-5-3)-⑤) (E-6)-②)</li> <li>5) 摂食障害を説明する。(E-5-3)-②) (E-6)-②)</li> </ol>
11月6日	山崎てるみ	ユニット9：歯科治療時に配慮すべき症候群と合併症	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 歯科治療時に配慮すべき症候群を列挙する。(E-5-2)-①)</li> <li>2) 歯科治療時に配慮すべき症候群の歯科的特徴を述べる。(E-5-2)-①)</li> <li>3) 歯科治療時に配慮すべき症候群の合併症を述べる。(E-5-2)-①)</li> <li>4) 歯科治療時に配慮すべき症候群への対応を述べる。(E-5-2)-①)</li> </ol>
11月10日	村松 健司 *月曜日5限	ユニット10：行動調整と歯科治療 その1	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 行動調整の基本的な考え方を説明する。(E-5-2)-②③)</li> <li>2) 薬物を用いない行動調整を説明する。(E-5-2)-②)</li> <li>3) 行動療法による行動調整を説明する。(E-5-2)-②)</li> <li>4) 抑制法による行動調整を説明する。(E-5-2)-②)</li> </ol>
11月13日	阿部 恵一	ユニット11：行動調整と歯科治療 その2	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 薬物を用いる行動調整を説明する。(E-1-4)-(1)-⑤⑥, E-5-2)-②)</li> <li>2) 吸入鎮静法による行動調整を説明する。(E-1-4)-(2)-②, E-5-2)-①②③)</li> <li>3) 静脈内鎮静法による行動調整を説明する。(E-1-4)-(2)-③, E-5-2)-①②③)</li> <li>4) 全身麻酔による行動調整を説明する。(E-1-4)-(4)①②③, E-5-2)-①②③)</li> </ol>
11月20日	白瀬 敏臣	ユニット12：障害児の口腔の健康支援	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 障害児の口腔の健康を妨げる要因を列記する。(E-5-2)-④)</li> <li>2) セルフケアにおける効果的なブラッシング指導法を説明する。(E-5-2)-④)</li> <li>3) 介助による口腔ケアの問題点と対応策を説明する。(E-5-2)-④)</li> <li>4) プロフェッショナルケアを分類し、その特徴を説明する。(E-5-2)-④)</li> <li>5) 疾患に応じた口腔ケアの特徴を説明する。(E-5-2)-④)</li> </ol>

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SBOs）
11 月 27 日	梅津糸由子	ユニット13：小児在宅歯科診療と歯科医療連携	1) 小児在宅歯科医療の診療を説明する。 (E-5-2)-②, (E-5-2)-③, (E-5-2)-④, (E-5-2)-⑤ 2) 小児在宅療養児の歯科治療時の留意点を説明する。 (E-5-2)-②, (E-5-2)-③, (E-5-2)-④, (E-5-2)-⑤ 3) 地域における障害児・者への歯科医療連携および 歯科診療を説明する。 (A-5-1)-③, (A-5-1)-④E-5-2)-②, (E-5-2)-③, (E-5-2)-④



# 部分床義歯補綴学

木曜日 10:40~12:10

## 本学期的学習目標 (GIO)

部分的無歯顎の形態と機能を理解し、それに対する部分床義歯の考え方および実際に関する基本的事項について修得する。

## 教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

志賀 博・横山敦郎・前川賢治編	歯学生のパーシャルデンチャー	第7版	医歯薬出版
-----------------	----------------	-----	-------

## 担当者一覧

隅田由香, 横山正起, 上杉華子, 小見野真梨恵, 芳賀景嗣, 中島邦久

## 学習方略

- 講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験 [50%]       論述試験 [30%]       口頭試験 [--%]       レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 (中間テスト [20%])

## オフィスアワー

日時: 第1, 第3木曜日 16:30~17:30

場所: 100周年記念館4階 歯科補綴学第1講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
9月18日	上杉 華子	ユニット1: 咬合採得・咬合器付着	1) 上下顎顎間関係の記録について, その種類と方法を説明する。(E-3-4)-(2)-(7) 2) フェイスボウトランスファーの臨床的意義を述べる。(E-3-4)-(2)-(8) 3) 咬合器の使用目的を述べる。(E-3-4)-(2)-(8) 4) 咬合器の種類と特徴を述べる。(E-3-4)-(2)-(8) 5) 咬合器の調整方法を説明する。(E-3-4)-(2)-(8)
9月25日	中島 邦久	ユニット2: 人工歯排列・試適・埋没・重合	1) 人工歯排列の原則を説明する。(E-3-4)-(2)-(9) 2) 人工歯の選択方法を説明する。(E-3-4)-(2)-(9) 3) 下顎人工歯排列法を述べる。(E-3-4)-(2)-(10) 4) 歯肉形成を説明する。(E-3-4)-(2)-(11) 5) 蠟義歯の試適を説明する。(E-3-4)-(2)-(11) 6) 埋没前の前準備について述べる。(E-3-4)-(2)-(11) 7) 各種プラスチック埋没法の違いを述べる。(E-3-4)-(2)-(11) 8) 義歯の重合法を説明する。(E-3-4)-(2)-(11)
10月2日	芳賀 景嗣	ユニット3: 装着・管理	1) 装着時の留意事項を列挙する。(E-3-4)-(2)-(13) 2) 装着時の調整法を述べる。(E-3-4)-(2)-(13) 3) リコール時の診査項目を列挙する。(E-3-4)-(2)-(14) 4) 装着後に予測される不快事項の種類ならびにその対処法について説明する。(E-3-4)-(2)-(14)
10月9日	横山 正起	ユニット4: 顎機能障害・睡眠時無呼吸症候群	1) 顎機能障害について説明する。(E-2-4)-(7)-(1) 2) 顎機能障害に対し用いる装置について説明する。(E-2-4)-(7)-(1) 3) 睡眠時無呼吸症候群について説明する。(E-2-4)-(11)-(6) 4) 睡眠時無呼吸症候群に対し用いる装置について説明する。(E-2-4)-(11)-(6)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月16日	上杉 華子	ユニット5：中間テスト	1) 中間テストにより学習内容の理解度を評価する。
10月23日	小見野真梨恵	ユニット6：部分床義歯の修理	1) リラインとリベースを説明する。(E-3-4)-(2)-(14) 2) 義歯床破損の原因を説明する。(E-3-4)-(2)-(14) 3) 人工歯破損の原因を説明する。(E-3-4)-(2)-(14) 4) 支台装置破損の原因を説明する。(E-3-4)-(2)-(14) 5) 義歯の修理法を説明する。(E-3-4)-(2)-(14)
10月30日	隅田 由香	ユニット7：特殊な義歯①	1) 金属床義歯の特徴を説明する。(E-3-4)-(2)-(4) 2) フレームワークの各部の名称について説明する。(E-3-4)-(2)-(5) 3) フレームワークの製作手順，試適について説明する。(E-3-4)-(2)-(12) 4) オーバーデンチャーの特徴を説明する。(E-3-4)-(2)-(4) 5) ノンメタルクラスプデンチャーの特徴を説明する。(E-3-4)-(2)-(4) 6) テレスコープデンチャーの特徴を説明する。(E-3-4)-(2)-(4)
11月6日	隅田 由香	ユニット8：特殊な義歯②	1) 顎顔面補綴に用いる装置について説明する。(E-5-1)-(8) 2) 舌接触補助床について説明する。(E-5-1)-(8) 3) スピーチエイドについて説明する。(E-5-1)-(8) 4) 軟口蓋挙上装置について説明する。(E-5-1)-(8)
11月13日	中島 邦久	ユニット9：下顎運動と咀嚼能力・口腔機能低下症	1) 下顎運動の検査法について説明する。(E-3-4)-(2)-(7) 2) 筋電図について説明する。(E-5-1)-(3) 3) 咀嚼能力の検査法について説明する。(E-5-1)-(3) 4) 口腔機能低下症について説明する。(E-5-1)-(3)
11月17日	小見野真梨恵 *月曜日5限	ユニット10：後期授業まとめ①	1) 後期学習内容を整理・再確認し，学習内容の習熟度を評価する。
11月20日	小見野真梨恵	ユニット11：後期授業まとめ②	1) 後期学習内容を整理・再確認し，学習内容の習熟度を評価する。
11月27日	上杉 華子	ユニット12：問題演習①	1) 学習内容を再確認し，問題に解答できるようにするために，今まで学んだ知識を応用する。
12月3日	上杉 華子 *水曜日5限	ユニット13：問題演習②	1) 学習内容を再確認し，問題に解答できるようにするために，今まで学んだ知識を応用する。

# 部分床義歯補綴学実習

木曜日 13:10~17:15

## 本学期的学習目標 (GIO)

部分的な歯の欠損によって失われた咀嚼系の機能と形態を回復し、口腔組織の健康状態を保つために、部分的な歯の欠損によって生じる咀嚼系の形態と機能の変化に関する診査、診断、部分床義歯補綴に関連する基本的な臨床操作を修得する。

## 教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

志賀 博・歯科補綴学第1講座 編	有床義歯補綴学実習書	第8版	日本歯科大学
------------------	------------	-----	--------

## 担当者一覧

隅田由香, 横山正起, 石田鉄光, 中島邦久, 上杉華子, 小見野真梨恵, 秋山 洋, 岡山浩美, 川名弘剛, 渡邊慧子, 寺沼樹里, 山川茉里萌, 安部結美, 寺辺やよひ, 萩原 彰, 岩波行紀, 高草木章, 仁村秀由喜, 小島健一郎, 芳賀景嗣, 塙 悦郎, 荒川一郎, 千切一恵, 田村響子, 倉持淳子, 齋藤眞子, 仁村可奈, 門田千晶

## 学習方略

講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [--%]       論述試験 [--%]       口頭試験 [40%]       レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [60%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 木曜日 16:20~17:30  
 場所: 7階 臨床基礎実習室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
9月18日	上杉 華子	ユニット1: 初診時の診査, 概形印象採得・研究用模型の製作	1) アルジネート印象材の練和を実施する。(E-3-4)-(2)-⑥) 2) 印象採得を実施する。(E-3-4)-(2)-⑥) 3) 研究用模型を製作する。(E-3-4)-(2)-⑥)
9月25日	中島 邦久	ユニット2: 上顎模型の咬合器付着・咬合床製作	1) 研究用模型の調整を実施する。(E-3-4)-(2)-⑥) 2) 咬合器に上顎模型を付着する。(E-3-4)-(2)-⑧) 3) 咬合床の製作を実施する。(E-3-4)-(2)-⑥)
10月2日	小見野真梨恵	ユニット3: 咬合採得・下顎模型の咬合器付着	1) 咬合採得を実施する。(E-3-4)-(2)-⑥) 2) 咬合器に下顎模型を付着する。(E-3-4)-(2)-⑧)
10月9日	横山 正起	ユニット4: サベイング・仮設計・個人トレー製作	1) サベイヤーの目的, 役割を説明する。(E-3-4)-(2)-④) 2) サベイングを実施する。(E-3-4)-(2)-④) 3) 部分床義歯の設計 (外形線記入・仮設計) を実施する。(E-3-4)-(2)-⑤) 4) 個人トレー製作のために常温重合レジン进行操作する。(E-3-4)-(2)-⑪) 5) 下顎個人トレーの製作を実施する。(E-3-4)-(2)-⑪)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月16日	上杉 華子	ユニット5：前処置・筋圧形成・精密印象採得	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) マウスプレパレーションを説明する。(E-3-4)-(2)-(12)</li> <li>2) レスト座の形成を実施する。(E-3-4)-(2)-(12)</li> <li>3) ガイドプレーンの形成を実施する。(E-3-4)-(2)-(12)</li> <li>4) 筋圧形成を模倣する。(E-3-4)-(2)-(11)</li> <li>5) 下顎精密印象採得を実施する。(E-3-4)-(2)-(11)</li> </ol>
10月23日	中島 邦久	ユニット6：ボクシング・作業用模型への本設計・ブロックアウト・リリース	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) ボクシングを実施する。(E-3-4)-(2)-(11)</li> <li>2) サベイングを実施する。(E-3-4)-(2)-(4)</li> <li>3) 部分床義歯の設計手順を説明する。(E-3-4)-(2)-(12)</li> <li>4) 維持装置・連結装置を設計する。(E-3-4)-(2)-(5)</li> <li>5) 作業用模型上でブロックアウト・リリースを実施する。(E-3-4)-(2)-(11)</li> <li>6) 複印象を説明する。(E-3-4)-(2)-(11)</li> <li>7) 耐火模型の製作を説明する。(E-3-4)-(2)-(11)</li> </ol>
10月30日	上杉 華子	ユニット7：クラスプ・フレームワークのワックスアップ・ワイヤークラスプの屈曲	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 耐火模型上へのクラスプ・フレームワークのワックスアップを実施する。(E-3-4)-(2)-(11)</li> <li>2) ワイヤークラスプと鑄造クラスプについて説明する。(E-3-4)-(2)-(11)</li> <li>3) ワイヤークラスプの製作を実施する。(E-3-4)-(2)-(11)</li> </ol>
11月6日	小見野真梨恵	ユニット8：クラスプ・フレームワークの試適・咬合床製作	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 連結装置，維持装置の試適方法を説明する。(E-3-4)-(2)-(11)</li> <li>2) フレームワークの試適を実施する。(E-3-4)-(2)-(11)</li> <li>3) 咬合床を製作する。(E-3-4)-(2)-(6)</li> <li>4) 切歯路板の製作を説明する。(E-3-4)-(2)-(11)</li> </ol>
11月13日	横山 正起	ユニット9：咬合採得・咬合器付着	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 咬合採得を実施する。(E-3-4)-(2)-(6)</li> <li>2) 咬合器に下顎模型を付着する。(E-3-4)-(2)-(8)</li> </ol>
11月20日	上杉 華子	ユニット10：人工歯選択・排列・歯肉形成・蠟義歯試適・義歯装着後の管理	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 人工歯排列の原則を説明する。(E-3-4)-(2)-(9)</li> <li>2) 人工歯の選択方法を説明する。(E-3-4)-(2)-(9)</li> <li>3) 下顎人工歯排列を実施する。(E-3-4)-(2)-(10)</li> <li>4) 歯肉形成の目的と方法を説明する。(E-3-4)-(2)-(11)</li> <li>5) 歯肉形成を実施する。(E-3-4)-(2)-(11)</li> <li>6) 咬頭嵌合位での咬合調整を実施する。(E-3-4)-(2)-(10)</li> <li>7) 偏心位での咬合調整を実施する。(E-3-4)-(2)-(10)</li> <li>8) 蠟義歯の試適の要点を説明する。(E-3-4)-(2)-(11)</li> <li>9) 蠟義歯の試適を実施する。(E-3-4)-(2)-(11)</li> <li>10) 義歯の重合法を説明する。(E-3-4)-(2)-(11)</li> <li>11) 義歯装着後の管理を説明する。(E-3-4)-(2)-(13)</li> </ol>
11月27日	中島 邦久	ユニット11：口頭試問	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 修得した知識を確認し，実習の修得度を評価する。</li> </ol>

# 口腔内科学

金曜日 9:00~10:30

## 本学期的学習目標 (GIO)

睡眠時無呼吸症, 血液疾患, 口腔粘膜疾患, 顎関節疾患, 唾液腺疾患の原因, 病態, 症状, 処置ならびに予後, さらにアレルギーと自己免疫疾患について理解する。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
山根源之, 草間幹夫 編集主幹	口腔内科学	第3版	永末書店
榎本昭二 代表監修	最新口腔外科学	第5版	医歯薬出版
日本歯科薬物療法学会 編	日本歯科用医薬品集 歯科の処方に役立つ本	第5版	永末書店

## 担当者一覧

松野智宣, 澁井武夫, 安田卓史

## 学習方略

- 講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験 [70%]     論述試験 [30%]     口頭試験 [--%]     レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]     シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [--%]     観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]     その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 毎週金曜日 16:30~17:00

場所: 1000周年記念館5階 口腔外科学講座 \*あるいは講義終了後の担当者からの指示

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
9月26日	澁井 武夫	ユニット1: 睡眠時無呼吸症	1) 睡眠時無呼吸症の臨床症状を説明する。(E-2-4)-(11)-⑥ 2) 睡眠時無呼吸症の検査を説明する。(E-2-4)-(11)-⑥ 3) 無呼吸低呼吸指数(AHI)から重症度を判定する。(E-2-4)-(11)-⑥ 4) ポリソムノグラムを説明する。(E-2-4)-(11)-⑥ 5) 口腔内装置の作製法を説明する。(E-2-4)-(11)-⑥ 6) 口腔内装置の副作用を説明する。(E-2-4)-(11)-⑥
9月29日	松野 智宣 *月曜日5限	ユニット2: 赤血球系疾患	1) 赤血球の形成過程と機能を説明する。(E-2-4)-(10)-① 2) 赤血球系疾患を列記する。(E-2-4)-(10)-① 3) 赤血球系疾患の口腔症状を説明する。(E-2-4)-(10)-① 4) 赤血球系疾患の全身症状を説明する。(E-2-4)-(10)-① 5) 赤血球系疾患の歯科における注意点と対処法を具体的に述べる。(E-2-4)-(10)-①
10月3日	松野 智宣	ユニット3: 白血球系疾患	1) 白血球の形成過程と機能を説明する。(E-2-4)-(10)-① 2) 白血球系疾患を列記する。(E-2-4)-(10)-① 3) 白血球系疾患の口腔症状を説明する。(E-2-4)-(10)-① 4) 白血球系疾患の全身症状を説明する。(E-2-4)-(10)-① 5) 白血球系疾患の歯科における注意点と対処法を具体的に述べる。(E-2-4)-(10)-①

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月10日	松野 智宣 * 2限	ユニット4：出血性素因と抗血栓療法	1) 出血性素因について説明する。 (E-2-4)-(10)-① 2) 出血性素因の原因を説明する。(E-2-4)-(10)-① 3) 抗血栓療法について説明する。(E-2-4)-(10)-① 4) 口腔内出血の症状を説明する。(E-2-4)-(10)-① 5) 口腔内出血と全身状態との関連を説明する。 (E-2-4)-(10)-① 6) 歯科の対応を具体的に述べる。(E-2-4)-(10)-①
10月17日	松野 智宣	ユニット5：色素沈着、白斑、紅斑・びらんを主徴とする口腔粘膜疾患	1) 色素沈着を主徴とする疾患を列記する。 (E-2-4)-(4)-② 2) 白斑を主徴とする疾患の原因と症状を説明する。 (E-2-4)-(4)-② 3) 紅斑・びらんを主徴とする疾患の原因と症状を説明する。 (E-2-4)-(4)-②
10月24日	安田 卓史	ユニット6：口腔粘膜の構造と疾患の分類および漢方による治療	1) 口腔粘膜の構造と機能を説明する。 (E-2-4)-(4)-① 2) 口腔粘膜疾患を分類する。(E-2-4)-(4)-① 3) 漢方薬による治療を知る。(E-2-4)-(4)-①
10月27日	松野 智宣 *月曜日5限	ユニット7：水疱、潰瘍を主徴とする口腔粘膜疾患、口唇・舌の口腔粘膜疾患	1) 水疱を主徴とする疾患の原因と症状を説明する。 (E-2-4)-(4)-①② 2) 潰瘍を主徴とする疾患の原因と症状を説明する。 (E-2-4)-(4)-①② 3) 口唇、舌などに生じる疾患の原因と症状を説明する。 (E-2-4)-(4)-①②
10月31日	澁井 武夫	ユニット8：顎関節疾患総論	1) 顎関節の解剖を説明する。(E-2-4)-(7)-①② 2) 顎関節疾患の症状を説明する。 (E-2-4)-(7)-①② 3) 顎関節症の診断基準を説明する。 (E-2-4)-(7)-①②
11月7日	澁井 武夫	ユニット9：顎関節疾患各論	1) 顎関節の先天異常および発育異常を説明する。 (E-2-4)-(7)-①② 2) 顎関節の外傷性疾患を説明する。 (E-2-4)-(7)-①② 3) 顎関節の炎症性病変を説明する。 (E-2-4)-(7)-①② 4) 顎関節の腫瘍性病変を説明する。 (E-2-4)-(7)-①② 5) 顎関節強直症を説明する。(E-2-4)-(7)-①②
11月12日	松野 智宣 *水曜日5限	ユニット10：唾液腺疾患総論、唾液腺炎、唾石症、唾液腺の嚢胞	1) 唾液腺の特徴・構造・機能を説明する。 (E-2-4)-(8)-① 2) 唾液腺の機能異常について説明する。 (E-2-4)-(8)-③ 3) 炎症による唾液腺疾患を説明する。 (E-2-4)-(8)-③ 4) 外傷による唾液腺疾患を説明する。 (E-2-4)-(8)-③ 5) 唾石症の特徴、症状および治療法を説明する。 (E-2-4)-(8)-② 6) 唾液腺の嚢胞の特徴、症状および治療法を説明する。 (E-2-4)-(5)-①②

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SBOs）
11 月 21 日	松野 智宣	ユニット11：唾液腺の良性腫瘍，悪性腫瘍，腫瘍類似疾患，ウイルス性疾患，自己免疫疾患	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 唾液腺の良性腫瘍の特徴，症状および治療法を説明する。(E-2-4)-(8)-(4))</li> <li>2) 唾液腺の悪性腫瘍の特徴，症状および治療法を説明する。(E-2-4)-(8)-(4))</li> <li>3) 唾液腺にみられる腫瘍類似疾患を説明する。(E-2-4)-(8)-(5))</li> <li>4) 流行性耳下腺炎の原因，症状を説明する。(E-2-4)-(8)-(6))</li> <li>5) Sjögren症候群とIgG4関連疾患の特徴，症状および治療法を説明する。(E-2-4)-(8)-(7))</li> </ol>
11 月 28 日	松野 智宣	ユニット12：アレルギーと自己免疫疾患	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) アレルギーと自己免疫疾患の発症機序を述べる。(C-4-2)-(5), (6))</li> <li>2) 薬物アレルギーを説明する。(E-2-4)-(10)-(3))</li> <li>3) 歯科金属アレルギーを説明する。(E-2-4)-(10)-(3))</li> <li>4) 全身性エリテマトーデスを説明する。(E-2-4)-(10)-(3))</li> <li>5) 遺伝性血管性浮腫（HAE）を説明する。(E-2-4)-(10)-(3))</li> </ol>
12 月 5 日	松野 智宣	ユニット13：問題演習および解説	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 客観問題で正答を選択する。</li> <li>2) 問題解説で理解度を知り，問題解決に必要な知識を習得する。</li> <li>3) 記述式問題の解答を説明する。</li> </ol>



# 歯科麻酔・救急処置

金曜日 10:40~12:10

## 本学期的学習目標 (GIO)

患者に苦痛を与えない安全な歯科治療を行うために、患者の評価法、局所麻酔法、精神鎮静法、救急処置に関する知識を修得する。また注意すべき全身疾患を認識し、偶発症発生の予防法と対処法を知る。

## 教科書・参考書

### 著者・編集

### 書名

### 版

### 出版社

古屋英毅 他	歯科麻酔・全身管理学の手引き	第5版	学建書院
金子 譲 監修	歯科麻酔学	第8版	医歯薬出版

## 担当者一覧

砂田勝久, 塩谷伊毅, 今井智明, 筒井友花子, 小谷田貴之, 酒井有沙, 島村直宏

## 学習方略

講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [70%]       論述試験 [30%]       口頭試験 [--%]       レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 ( 不正行為 [減点式] )

## オフィスアワー

日時: 講義終了後 16:20~17:00

場所: 100周年記念館5階 歯科麻酔学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
9月26日	筒井友花子	ユニット1: 麻酔に必要な呼吸の生理	1) 気道の構造と機能を述べる。(C-3-4)-(8)-①) 2) 呼吸の調節を述べる。(C-3-4)-(8)-②) 3) 血液による酸素と二酸化炭素の運搬を説明する。(C-3-4)-(4)-④) 4) 低酸素症を説明する。(E-6-①) 5) 高二酸化炭素血症を説明する。(E-6-①) 6) 酸塩基平衡を説明する。(C-3-4)-(9)-②) 7) 術前の呼吸機能評価を説明する。(E-1-4)-(4)-③)
10月3日	筒井友花子	ユニット2: 麻酔に必要な循環の生理	1) 循環の構成要素を述べる。(C-3-4)-(4)-①) 2) 循環の調節を説明する。(C-3-4)-(4)-③) 3) 血圧を説明する。(E-1-4)-(1)-②) 4) 正常心電図を説明する。(C-3-4)-(4)-①) 5) 術前の循環機能評価を説明する。(E-1-4)-(4)-③)
10月6日	酒井 有沙 *月曜日5限	ユニット3: 全身麻酔法 (1)	1) 全身麻酔の概念と流れを述べる。(E-1-4)-(4)-①) 2) 全身麻酔の適応と禁忌を述べる。(E-1-4)-(4)-③) 3) 術前評価を説明する。(E-1-4)-(4)-③) 4) 術前指示を説明する。(E-1-4)-(4)-③) 5) 麻酔前投薬の目的と使用薬物を述べる。(E-1-4)-(4)-③) 6) 全身麻酔法を分類する。(E-1-4)-(4)-①) 7) 麻酔深度を説明する。(E-1-4)-(4)-①)
10月10日	酒井 有沙 *1限	ユニット4: 全身麻酔法 (2)	1) 吸入麻酔薬の薬物動態を述べる。(E-1-4)-(4)-②) 2) 吸入麻酔薬の麻酔導入・覚醒に影響する因子を説明する。(E-1-4)-(4)-②) 3) 吸入麻酔薬のMACを説明する。(E-1-4)-(4)-②) 4) 吸入麻酔薬の特徴を述べる。(E-1-4)-(4)-②)
10月17日	酒井 有沙	ユニット5: 全身麻酔法 (3)	1) 静脈麻酔薬のCSHTを説明する。(E-1-4)-(4)-②) 2) 静脈麻酔薬の特徴を述べる。(E-1-4)-(4)-②) 3) 筋弛緩薬を説明する。(E-1-4)-(4)-②) 4) 鎮痛薬を説明する。(E-1-4)-(4)-②)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月24日	砂田 勝久	ユニット6：全身麻酔法（4）	1）麻酔装置を説明する。（E-1-4）-（4）-②） 2）麻酔導入について説明する。（E-1-4）-（4）-③） 3）術中の気道管理を説明する。（E-1-4）-（4）-③）
10月31日	塩谷 伊毅	ユニット7：全身麻酔法（5）	1）麻酔維持について説明する。（E-1-4）-（4）-③） 2）麻酔中のモニタ機器を説明する。（E-1-4）-（4）-③） 3）麻酔の覚醒・抜管について述べる。（E-1-4）-（4）-③） 4）術後管理について説明する。（E-1-4）-（4）-③） 5）全身麻酔に必要な準備器材について述べる。（E-1-4）-（4）-②）
11月7日	塩谷 伊毅	ユニット8：全身麻酔法（6）	1）呼吸器系合併症の原因，予防法，対処法を述べる。（E-1-4）-（4）-③） 2）循環器系合併症の原因，予防法，対処法を述べる。（E-1-4）-（4）-③） 3）その他の合併症を列記する。（E-1-4）-（4）-③）
11月14日	塩谷 伊毅 * 1限	ユニット9：輸液・輸血，高齢者の全身麻酔，口腔外科手術の全身麻酔	1）体液組成を述べる。（C-3-4）-（10）-②） 2）輸液の目的と輸液剤を説明する。（E-1-4）-（4）-③） 3）輸血の目的と輸血製剤を述べる。（E-1-4）-（4）-③） 4）輸血の合併症を説明する。（E-1-4）-（4）-③） 5）高齢者の生理学的特徴を説明する。（E-5-1）-①） 6）高齢者の全身管理上の注意点を説明する。（E-5-1）-（1）-⑤） 7）口腔外科手術における全身麻酔の注意点について説明する。（E-1-4）-（4）-③）
11月14日	今井 智明	ユニット10：小児・障害者の全身麻酔と日帰り全身麻酔	1）小児の生理学的特徴を説明する。（E-1-4）-（1）-⑥） 2）歯科における小児の全身麻酔を説明する。（E-1-4）-（4）-③） 3）歯科における障害者の全身麻酔を説明する。（E-1-4）-（4）-③） 4）日帰り外来全身麻酔を説明する。（E-1-4）-（4）-③） 5）日帰り外来全身麻酔の適応，禁忌，帰宅許可条件を述べる。（E-1-4）-（4）-③）
11月21日	小谷田貴之	ユニット11：ペインクリニック（1）	1）神経疾患の特徴を説明する。（E-2-4）-（9）-①） 2）疼痛の伝達経路を説明する。（E-2-4）-（9）-①） 3）神経疾患の評価法を説明する。（E-1-3）-②） 4）三叉神経痛を説明する。（E-2-4）-（9）-②） 5）舌咽神経痛を説明する。（E-2-4）-（9）-①）
11月28日	小谷田貴之	ユニット12：ペインクリニック（2）	1）帯状疱疹を説明する。（E-2-4）-（9）-①） 2）帯状疱疹後神経痛を説明する。（E-2-4）-（9）-①） 3）外傷性神経障害性疼痛を説明する。（E-2-4）-（9）-①） 4）癌性疼痛を説明する。（E-2-4）-（9）-①） 5）顔面痙攣を説明する。（E-2-4）-（9）-①） 6）非歯原性歯痛を説明する。（E-2-4）-（10）-⑩） 7）非定型歯痛・顔面痛を説明する。（E-2-4）-（10）-⑩） 8）心因性疼痛を説明する。（E-5-3）-②）
12月5日	小谷田貴之	ユニット13：ペインクリニック（3）	1）三叉神経感覚障害を説明する。（E-2-4）-（9）-④） 2）顔面神経麻痺を説明する。（E-2-4）-（9）-③） 3）Ramsay-Hunt 症候群を説明する。（E-2-4）-（9）-①） 4）星状神経節ブロックを説明する。（E-2-4）-（10）-⑩） 5）口腔領域のその他の麻痺性疾患を説明する。（E-2-4）-（9）-①）

# 口腔外科の基本手技実習

金曜日 13:10~17:15

## 本学期的学習目標 (GIO)

臨床実習を安全かつ確実に履修するために、身に付けておくべき口腔外科、歯科麻酔および口腔インプラントの基本手技についての知識、技能および態度を修得する。

## 教科書・参考書

### 著者・編集

### 書名

### 版

### 出版社

栗田賢一 編集代表	SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療	第6版	永末書店
古屋英毅 東理十三雄 他	歯科麻酔・全身管理学の手引き	第5版	学建書院
公社 日本口腔インプラント学会編	口腔インプラント学実習書	第2版	永末書店

## 担当者一覧

口腔外科実習：里見貴史，松野智宣，澁井武夫，岡村武志，稻田 諒，小柳昌央，荘司洋文，藤城建樹，田中惇平，宮坂彩子，上田康平，岸 碧紀，西崎太郎，黒岩 聖  
 歯科麻酔実習：砂田勝久，篠原健一郎，筒井友花子，酒井有沙，島村直宏，三代冬彦，今井智明，阿部恵一，小林清佳，小谷田貴之，安田麻子，塩谷伊毅，辻本源太郎，五井貴大，寒竹容子，岩堀泰子，清原歩実，篠原麻緒  
 インプラント実習：柳井智恵，小倉 晋，築瀬麻衣子，是澤和人，川上紗和子，井坂栄作，近澤俊郎，秋山仁志，山瀬 勝

## 学習方略

講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [3%]       論述試験 [--%]       口頭試験 [--%]       レポート [2%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [5%]       実地試験 [70%]       観察記録 [20%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時：金曜日 16:20~17:30

場所：100周年記念館5階口腔外科学講座・歯科麻酔学講座，附属病院6階口腔インプラント診療科

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標 (SBOs)
9月26日	澁井 武夫	ユニット1：医療安全・感染予防，器具・器材	1) スタンダードプレコーションを実践する。(F-1-2)-④) 2) 清潔操作を実施する。(F-1-2)-②) 3) 外来手術のための手洗い，滅菌手袋および滅菌ガウンを適切に装着する。(F-3-1)-①) 4) 器具・器材の名称を述べる。(F-3-1)-②) 5) 器具・器材の使用目的を説明する。(F-3-1)-②)
10月3日	松野 智宣	ユニット2：切開，剥離，縫合 (1) (器械縫合)	1) 切開，剥離および縫合に必要な器具・器材を準備する。(F-3-5)-②) 2) 切開，剥離および縫合に必要な器具・器材を正しく使用する。(F-3-5)-②) 3) ガム模型上で正しく切開・剥離をする。(F-3-5)-②) 4) ガム模型上で正しく器械縫合をする。(F-3-5)-②) ガム模型上で正しく抜糸をする。(F-3-5)-②)
10月10日	稻田 諒	ユニット3：切開，剥離，縫合 (2) (手指結紮)	1) 切開，剥離および縫合に必要な器具・器材を準備する。(F-3-5)-②) 2) 切開，剥離および縫合に必要な器具・器材を正しく使用する。(F-3-5)-②) 3) ガム模型上で正しく切開・剥離をする。(F-3-5)-②) 4) ガム模型上で正しく手指結紮をする。(F-3-5)-②) ガム模型上で正しく抜糸をする。(F-3-5)-②)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月17日	小柳 昌央	ユニット4：上顎の単純抜歯	<ol style="list-style-type: none"> <li>適切な挺子，鉗子を選択する。(F-3-5)-①)</li> <li>挺子を正しく用いる。(F-3-5)-①)</li> <li>鉗子を正しく用いる。(F-3-5)-①)</li> <li>上顎の抜歯体位をとる。(F-3-5)-①)</li> <li>上顎の単純抜歯を実施する。(F-3-5)-①)</li> <li>止血法を実施する。(F-3-5)-②)</li> <li>抜歯後の注意事項を説明する。(F-3-5)-②)</li> </ol>
10月24日	岡村 武志	ユニット5：下顎の単純抜歯，膿瘍切開	<ol style="list-style-type: none"> <li>適切な挺子，鉗子を選択する。(F-3-5)-①)</li> <li>挺子を正しく用いる。(F-3-5)-①)</li> <li>鉗子を正しく用いる。(F-3-5)-①)</li> <li>下顎の抜歯体位をとる。(F-3-5)-①)</li> <li>下顎の単純抜歯を実施する。(F-3-5)-①)</li> <li>膿瘍切開を実施する。(F-3-5)-②)</li> <li>止血法を実施する。(F-3-5)-②)</li> <li>処置後の注意事項を説明する。(F-3-5)-②)</li> </ol>
10月31日	澁井 武夫	ユニット6：下顎埋伏智歯の抜歯	<ol style="list-style-type: none"> <li>処置に必要な器具・器材を準備する。(F-3-5)-②)</li> <li>切開線を正しく設定する。(F-3-5)-②)</li> <li>模型上で切開・剥離をする。(F-3-5)-②)</li> <li>正しい体位で下顎埋伏智歯を抜去する。(F-3-5)-②)</li> <li>模型上で縫合する。(F-3-5)-②)</li> <li>止血法を実施する。(F-3-5)-②)</li> <li>抜歯後の注意事項と合併症を説明する。(F-3-5)-②)</li> </ol>
11月7日	里見 貴史	ユニット7：実技試験 (2)	<ol style="list-style-type: none"> <li>指定された部位の抜歯に必要な器具・器材を準備する。(F-3-5)-①)</li> <li>正しく手洗いを実施する。(F-3-1)-①)</li> <li>正しく滅菌手袋を装着する。(F-3-1)-①)</li> <li>適切な体位で抜歯する。(F-3-5)-①)</li> <li>適切な止血法を実施する。(F-3-5)-②)</li> <li>抜歯後の注意事項を説明する。(F-3-5)-②)</li> </ol>
11月14日	柳井 智恵	ユニット8：インプラント体埋入手術	<ol style="list-style-type: none"> <li>インプラントの適応症，禁忌症を説明する。(E-3-4)-(3)-②)</li> <li>インプラント手術に必要な局所解剖を説明する。(E-3-4)-(3)-⑤)</li> <li>インプラント体埋入手術の1回法と2回法を説明する。(E-3-4)-(3)-⑤)</li> <li>インプラント体埋入（一次）手術に必要な器具，器材を準備する。(E-3-4)-(3)-⑤)</li> <li>模型上でインプラント体埋入手術を実施する。(E-3-4)-(3)-⑤)</li> <li>インプラント体埋入手術の併発症を説明する。(E-3-4)-(3)-⑤)</li> </ol>
11月21日	柳井 智恵	ユニット9：インプラント二次手術	<ol style="list-style-type: none"> <li>二次（支台部連結）手術に必要な器具，器材を準備する。(E-3-4)-(3)-⑤)</li> <li>模型上でインプラント二次手術を実施する。(E-3-4)-(3)-⑤)</li> <li>インプラント二次手術の併発症を説明する。(E-3-4)-(3)-⑤)</li> </ol>
11月28日	酒井 有沙	ユニット10：全身麻酔の導入	<ol style="list-style-type: none"> <li>麻酔導入の過程を実施する。(E-1-4)-(4)-②)</li> <li>血圧・脈拍を測定する。(F-2-2)-①)</li> </ol>
12月5日	柳井 智恵	ユニット11：インプラントの印象採得	<ol style="list-style-type: none"> <li>インプラントの印象採得に必要な器具，器材を準備する。(E-3-4)-(3)-⑥)</li> <li>模型上でインプラントの印象採得を実施する。(E-3-4)-(3)-⑥)</li> </ol>

## 実務経験のある教員等による授業科目について\_臨床系科目抜粋【生命歯学部】

科目名 (授業の方法)	時間数	単位数	実務担当教員	どのような実務経験を持つ教員がどのような教育を行うか
全部床義歯補綴学（講義）	39	3	隅田由香、横山正起、上杉華子、小見野真梨恵、水橋 史	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。咀嚼系の形態と機能を理解するために、基礎学科で履修した知識を整理するとともに、歯科補綴学の概念および基礎的知識を修得する。また、無歯顎における形態と機能の変化に対する全部床義歯補綴の考え方を理解する。
部分床義歯補綴学（実習）	45	1	隅田由香、横山正起、石田鉄光、中島邦久、上杉華子、小見野真梨恵、秋山 洋、岡山浩美、川名弘剛、渡邊慧子、寺沼樹里、山川茉里萌、安部結美、寺辺やよひ、萩原 彰、岩波行紀、高草木章、仁村秀由喜、小島健一郎、芳賀景嗣、塙 悦郎、荒川一郎、千切一恵、田村響子、倉持淳子、齋藤真子、仁村可奈、門田千晶	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。部分的な歯の欠損によって失われた咀嚼系の機能と形態を回復し、口腔組織の健康状態を保つために、部分的な歯の欠損によって生じる咀嚼系の形態と機能の変化に関する診査、診断、部分床義歯補綴に関連する基本的な臨床操作を修得する。
部分床義歯補綴学（講義）	39	3	隅田由香、横山正起、上杉華子、小見野真梨恵、芳賀景嗣、中島邦久	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。部分的無歯顎の形態と機能を理解し、それに対する部分床義歯の考え方および実際に関する基本的事項について修得する。
内科学（講義）	19.5	1.5	谷 樹昌、渡辺尚彦、古畑 升、権 寧博	大学病院等における医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。歯科学を修めるにあたり、内科学の基礎知識と内科学疾患の留意すべき点を理解する。

統合臨床基礎学（実習）	44	1	<p>前田宗宏、横澤 茂、五味治徳、柵木寿男、里見貴史、篠原健一郎、岩田 洋、梅津糸由子、鈴木章弘、内藤 明</p> <p>【医療面接】大津光寛、井出吉昭、大澤銀子、北村和夫、仲谷 寛、西田太郎、前野雅彦、石川結子、石田鉄光、代田あづさ、滑川初枝、光安廣記、内田裕子、安田麻子、窪田大祐、川本沙也華、根岸 翼、土持 宇、岡田智雄</p> <p>【補綴】新谷明一、八田みのり、渡邊 慧、横山正起、上杉華子、小見野真梨恵、秋山仁志、石川結子</p> <p>【歯内】西田太郎、北村和夫、関谷美貴、三枝慶祐、杉田浩一、濱田康弘、山崎孝子、小柳圭史、中山竣太郎、小林 鷹、梶原瑞貴、村山文康</p> <p>【修復】小川信太郎、河本 芽、越田清祐、河合貴俊、代田あづさ、杉山怜央、中原由絵、滑川初枝、新田俊彦、林 孝太郎、原 学、前野雅彦、光安廣記、村田卓也</p> <p>【口腔外科】松野智宣、宮坂孝弘、澁井武夫、岡村武志、田中惇平、稲田 諒、小柳昌央</p> <p>【救命救急】安田麻子、小谷田貴之、我妻由梨、村松健司、亀岡 亮、小柳圭史、筒井友花子、酒井有沙、今井智明、阿部恵一、小林清佳、黒岩 聖、大野泰子、清原歩実、石井通勇、篠原健一郎、井坂栄作</p> <p>【放射線】浅海利恵子、神尾 崇、河合泰輔、齋藤圭輔、永浦まどか、林 宗廣</p> <p>【臨床(小児)】村松健司、新見嘉邦、亀岡 亮、芦澤みなみ、西村 歩、出口 崇、宇佐見智里、伊藤春子、河野 南、千 瑛美</p> <p>【臨床(技工)】齋藤勝紀、竹井 潤、岩田健悟、山澤武司、中村美保、飯島孝守、芝崎雅一</p>	<p>大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。第5学年での附属病院における臨床参加型実習において附属病院各科診療室で患者と円滑に接するために、各基礎実習で履修した知識と技能を整理し、臨床実習生として必要な技能・態度を修得する。</p>
全部床義歯補綴学（実習）	39	1	<p>隅田由香、横山正起、石田鉄光、中島邦久、上杉華子、小見野真梨恵、秋山 洋、児玉実穂、岡山浩美、小池未来、川名弘剛、渡邊慧子、寺沼樹里、山川菜里萌、安部結美、亘理奈保子、寺辺やよひ、萩原 彰、岩波行紀、高草木 章、仁村秀由喜、小島健一郎、芳賀景嗣、塙 悦郎、荒川一郎、千切一恵、田村響子、倉持淳子、齋藤眞子、仁村可奈、門田千晶</p>	<p>大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。無歯顎者の全部床義歯補綴に対応するため、製作の実際を修得し、あわせて臨床操作に必要な器具・材料、ならびに器械の基本的な正しい取り扱いを身につける。</p>
小児歯科学（実習）	39	1	<p>苅部洋行、河上智美、田中聖至、名生幸恵、加藤雄一、岡本亜祐子、萩原洋子、米山博己、石井伸明、酒寄浩章、鈴木淳子、小口莉代、内川喜盛、白瀬敏臣、梅津糸由子、村松健司、新見嘉邦、亀岡 亮、山口みなみ、西村 歩、出口 崇、杉澤香恵子、宇佐見智里、伊藤春子、河野 南、千 瑛美、合場奈美、萩原栄和、黒田暁洋、林 陽佳、増田理紗、三宅真帆、波多野宏美、松崎祐樹、三井園子、宮山友紀、松本紗耶、山崎てるみ、松尾恭子</p>	<p>大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。小児の歯科的諸問題に対応するために、患児の一口腔単位の診察、診断、治療計画に基づいた治療と口腔管理の実際を理解し、臨床において求められる知識・技能・態度を修得する。</p>

小児歯科学（講義）	39	3	苅部洋行、河上智美、田中聖至、名生幸恵、加藤雄一、岡本亜祐子、小口莉代、鎌田弘明、前田美穂、小方清和、楊 秀慶、荻原栄和	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。成長発達の過程にある小児の顎口腔系器官の形態と機能の成育を目的とし、それを阻害する口腔疾患の予防と治療を行うために、小児歯科診療に必要な精神発達、身体の成長、および全身と口腔の機能的な発達について理解し、さまざまな口腔疾患の予防と治療法の原則を修得する。
障害者歯科学（講義）	19.5	1	内川喜盛、大島克郎、加藤雄一、亀岡 亮、西脇恵子、田村文誉、町田麗子、石井隆資、山崎てるみ、村松健司、阿部恵一、白瀬敏臣、梅津糸由子	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。歯科医療において障害児・者へ必要な医療を行うために、障害者歯科学の基本理念、社会と健康、疾病、障害との関係や地域保健医療について理解し、発達障害者、身体障害者、精神障害者の概要と歯科治療および歯科保健管理について認識する。また、言語・摂食・嚥下障害の概要とリハビリテーションの対応や障害者の行動調整法、障害者歯科治療におけるリスク評価と安全管理を習得する。さらには、地域医療連携の重要性と、二次医療・三次医療の位置づけを認識する。
歯内療法学（実習）	39	1	前田宗宏、西田太郎、関谷美貴、三枝慶祐、村山文康、北村和夫、佐藤友則、濱田康弘、小柳圭史、小林 鷹、中山竣太郎、古田賢太郎、秋知美穂、石川 泰、磯田浩太、興地麗子、小倉陽子、梶原瑞貴、草間博文、小玉裕樹、杉田浩一、関口晃弘、高橋千明、立浪秀幸、辻野貴史、角掛 愛、永井圭子、永島万理子、前田朋己、松島正和、森山 旭、山崎孝子、吉野真弘	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。歯内療法学を臨床で実践するために、各種の治療法を実施し、臨床における実際の診療ポジションや治療の術式、手順を修得する。
歯内療法学（講義）	58.5	4.5	前田宗宏、西田太郎、関谷美貴、三枝慶祐、興地隆史	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。歯髄疾患および根尖性歯周疾患の治療法を理解するために、必要な知識を整理し、歯内療法臨床の基本的術式に関する知識を修得する。
歯周病学（実習）	44	1	沼部幸博、伊藤 弘、関野 愉、村樫悦子、五十嵐寛子、倉治竜太郎、林 英昭、沼部真理子、伊藤明子、川村浩樹、大崎忠夫、清信浩一、濱田 亮、高橋亮一、藤田佑三、大久保美佐、石井マイケル大宜、上原 直、和田祐季、三代紗季、宮下幸大、山崎 桂、仲谷 寛、小川智久、鈴木麻美、大澤銀子、加藤智崇、角田憲祐、小玉美也子、齋藤敦史、横山知美、美濃直輝、山本陸矢、阪 奈津子、杉山祐太、岩崎直弥、岡部俊秀、我妻瑞穂、井上修輔、大塚 源、小沼 晃、金森行泰、國分貴子、斉藤文重、斉藤洋一、眞下絢香、亘理 瑛、吉田 聡、石黒一美	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。講義で学んだ理論を踏まえ、歯周病学の臨床における基本的術式を理解するために、必要な基礎的臨床技能および態度を修得する。
歯周病学（講義）	58.5	4.5	沼部幸博、伊藤 弘、関野 愉、村樫悦子、五十嵐寛子、倉治竜太郎、石黒一美、佐藤 聡	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。歯周病学における全体像（各論）を理解するために、関連の知識を修得し、その要諦と基本事項を学習しながら、臨床で必要な基本術式の知識を身につける。

歯冠補綴学（実習）	39	1	五味治徳、新谷明一、八田みのり、渡邊 慧、黒田聡一、藤島 伸、岡田智雄、石田鉄光、横澤 茂、大津光寛、山瀬 勝、我妻由梨、石川結子、小池未来、丸茂義二、大内秀明、遠山佳之、松尾 豊、長田博史、海渡智義、濱 仁隆、米澤弥生、落合真美、曾布川裕介、磯 亮輔、軍司さおり	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。歯冠修復の基本的事項を確認するために、各種補綴装置の支台歯形成、印象採得、作業模型の製作、支台築造、プロビジョナルクラウンの製作を通して、臨床において求められる知識・技能・態度を修得する。
歯冠補綴学（講義）	58.5	4.5	五味治徳、新谷明一、片桐慎吾、八田みのり、黒田聡一、秋山仁志、柳井智恵、鈴木貴規、海渡智義、山崎長郎、上田一彦、松田哲治	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。歯冠補綴学の概要を理解するために、基礎科目で履修した知識を整理し、歯科補綴臨床で求められる知識を修得する。
歯科麻酔・救急処置（講義）	39	3	砂田勝久、塩谷伊毅、今井智明、大橋 誠、筒井友花子、小谷田貴之、酒井有沙、島村直宏	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。患者に苦痛を与えない安全な歯科治療を行うために、患者の評価法、局所麻酔法、精神鎮静法、救急処置に関する知識を修得する。また注意すべき全身疾患を認識し、偶発症発生の予防法と対処法を知る。
歯科放射線学（講義）	58.5	4.5	河合泰輔、浅海利恵子、神尾 崇、永浦まどか、岩田 洋、林 宗廣、柿本直也、飯久保正弘、前野雅一、西川慶一、香川豊宏	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。これまでの知識に加え、歯・顎・顔面領域における特異的な疾患、放射線の人体への影響、がんの放射線治療など、臨床における様々な放射線の活用法を理解すると同時に、病院実習に向けて歯科放射線学の知識の確認を行うために、演習を通じて知識の総まとめを行う。
歯科硬組織修復学（実習）	39	1	柵木寿男、安部美紀、石井通勇、石川明子、小川信太郎、河合貴俊、川本沙也華、北 大樹、河本 芽、神山通孝、古賀俊平、越田清祐、近藤健示、代田あづさ、辛 美輝、杉山征三、高橋彬文、多村美希、角掛 愛、中西生美、中原由絵、中村彰一郎、滑川初枝、新田俊彦、野上 勇、林 孝太郎、原 学、前野雅彦、松嶋千佳、丸山沙絵子、丸山智重、光安廣記、宮本相和子、村田卓也、矢野賢都、義隆伸之、杉山怜央	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。臨床の現場で求められる基本的な修復方法を体得するために、講義から得た知識に基づき、臨床において頻用される代表的な修復に際し求められる技法・取組みについて修得する。さらに、診療参加型臨床実習において求められる医療人として必須の態度・習慣や技能を身につける。
歯科硬組織修復学（講義）	58.5	4.5	柵木寿男、前野雅彦、河本 芽、貴美島 哲、林 孝太郎、越田清祐、原 学、小川信太郎、村田卓也、河合貴俊、新田俊彦、江黒 徹、中村昇司	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。硬組織疾患に対する直接・間接修復法を理解するために、応用する器材の種類・組成を整理し、各修復法の特徴、適応症・禁忌症、窩洞の特徴、修復手順などについて修得し、あわせて変色歯・破折歯・象牙質知覚過敏への対応を身につける。
歯科矯正学（実習）	39	1	新井一仁、磯部真帆、小川絢大、奥田美沙、嘉悦菜美、片岡彩乃、勝浦杏奈、呉屋 龍、古賀一輝、今野喜文、齋藤絵里佳、佐藤瑤子、柴崎絢香、鈴木章弘、鈴木美智子、世古口なつね、舘 晶彦、土持 宇、土井百合香、栃木啓佑、富田理絵、仲谷 豊、久 星子、藤田真澄、藤田由希子、藤原由梨、松原 萌、真鍋 望、矢澤 貴、若山雄一郎、和田健一郎、渡邊大悟、渡邊浩幸	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。歯科医師として不正咬合を治療する際の必要な要件を身につけるために、基本的な矯正装置の製作および症例分析を通して、臨床において求められる知識・技能・態度を修得する。

歯科矯正学（講義）	39	3	新井一仁、土持 宇、鈴木章弘、栃木啓佑、柴崎絢香、舘 晶彦、中村俊弘	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。前年度に修得した歯科矯正学の基本的知識と不正咬合の診断に関する知識をふまえて、歯科医師として適切な矯正歯科医療を提供するために必要となる治療に関する知識を修得する。
高齢者歯科学（講義）	19.5	1.5	菊谷 武、児玉実穂、磯田友子、高橋賢晃、田村文誉、元開早絵、戸原 雄、西脇恵子、筒井健夫	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。高齢者に対する歯科における対応を理解するために、高齢者を取り巻く環境や身体、特性、心理、行動に関する事項を学習しながら、臨床で必要な知識を身につける。
口腔内科学（講義）	39	3	石垣佳希、松野智宣、澁井武夫、田中淳平、小柳昌央、稲田 諒、戸谷収二、安田卓史	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。有病者歯科学においては、歯科に関連する全身疾患と有病者に対する歯科医療を知り、臨床における診断力と対応を身につける。口腔内科学においては、口腔疾患患者の診かた、治療総論、臨床検査、生体機能検査を学び、口腔顎顔面に症状を現す症候群、心因性病態および医療安全と感染予防対策について理解し、臨床における診断力と対応を身につける。
口腔外科の基本手技（実習）	44	1	【口腔外科実習】里見貴史、松野智宣、澁井武夫、岡村武志、稲田 諒、小柳昌央、 莊司洋文、藤城建樹、田中惇平、宮坂彩子、上田康平、岸 碧紀、西崎太郎、黒岩 聖 【歯科麻酔実習】砂田勝久、篠原健一郎、筒井友花子、酒井有沙、島村直宏、三代冬彦、 今井智明、阿部恵一、小林清佳、小谷田貴之、安田麻子、塩谷伊毅、辻本源太郎、 五井貴大、寒竹容子、岩堀泰子、清原歩実、篠原麻緒 【インプラント実習】柳井智恵、小倉 晋、築瀬麻衣子、是澤和人、川上紗和子、 井坂栄作、近澤俊郎、秋山仁志、山瀬 勝	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。臨床実習を安全かつ確実に履修するために、身に付けておくべき口腔外科、歯科麻酔および口腔インプラントの基本手技についての知識、技能および態度を修得する。
口腔外科学（講義）	39	3	里見貴史、田中 彰、澁井武夫、宮坂孝弘、田中惇平、稲田 諒、岡村武志、小柳昌央、宮坂彩子	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。顎・顔面・口腔領域に発症する奇形・変形を主徴とする疾患、外傷、炎症性疾患について、その原因、病態、症状、処置ならびに予後を総括的に理解する。また、各病態の主な疾患の概要を知り、臨床における診断力を身につける。
口腔インプラント学（講義）	19.5	1.5	柳井智恵、小倉 晋、築瀬麻衣子、是澤和人、川上紗和子、松野智宣、秋山仁志、井出吉昭、佐藤 聡	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。歯の欠損部に対する補綴法の一つであるインプラント治療を理解するために、基礎および臨床科目で修得した知識をもとにインプラントの基本的事項を修得し、臨床例を通して治療の内容を知る。
外科学（講義）	19.5	1.5	櫻井健一、平野智寛、鈴木周平、小豆畑丈夫、藤崎 滋、山本範子、河原弥生、安達慶太、窪田仁美	大学病院等における医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。日常診療で遭遇する医科的問題に対応ができる知識を修得するために、外科の基礎となる総論を理解する。
合計	1074	60.5		

◎単位換算方法・・・大学設置基準を踏まえ、講義15時間・実習45時間で1単位とした（事前学修及び事後学修を含む）。

